

河内長野市第4次総合計画策定のための  
市民アンケート調査結果報告書

平成15年12月

## はじめに

本市は、昭和 45 年 3 月に、「緑の健康都市」をめざして総合計画を策定し、昭和 60 年 6 月には、潤いと活気のある成熟した「緑の健康都市」をめざして新総合計画を策定し、まちづくりを進めてまいりました。

現在は、平成 7 年 9 月に策定した第 3 次総合計画に基づき、「環境とふれあい共生する都市づくり」「自立性の高いまちづくり」を基本理念に、「人・まち・緑 夢くうかん 歴史と文化の生活創造都市」を都市の将来像として、様々なまちづくり施策を展開しているところです。

この第 3 次総合計画も、平成 17 年度をもって計画期間が終了します。

この間、地方分権の推進や少子高齢化の進行、IT 革命の進展など、社会・経済の状況は大きく変化しております。また、長引く景気低迷による税収の減少や都心回帰による人口の減少など、右肩下がりの局面を迎える中、本市においても非常に厳しい財政状況にあります。

このような流れの中で、時代潮流に対応した新たなまちづくりの指針を確立するため、平成 18 年度から平成 27 年度を計画期間とする第 4 次総合計画の策定作業に取り組んでいるところです。

分権時代においては、市民・事業者・行政が一体となって、協働によるまちづくりを進めていくことが重要であることから、今回の計画策定にあたっては、より一層の市民参加を得るため、できるかぎりの工夫を行っています。

その一環として、本市の現状に対する評価や今後のまちづくりの方向性などについて、幅広い市民層から率直な意見を求め、計画策定の参考とするため、アンケート調査を実施し、本報告書を取りまとめたものです。

アンケートにご協力いただいた多くの方々に、この場をお借りして厚く御礼申し上げますとともに、本報告書を河内長野の将来を考える貴重な資料として活用してまいりたいと考えております。

## 目 次

調査概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の方法	1
調査結果	3
1 回答者の属性	3
2 河内長野市に対する好感度	6
3 河内長野市が好きな理由	8
4 河内長野市が嫌いな理由	10
5 河内長野市の住みよさ	11
6 市の現状に対する満足度	13
(1) 市全体に対する満足度	14
(2) 分野別満足度	16
(3) 健康・福祉分野に対する満足度	17
(4) 教育・文化分野に対する満足度	19
(5) 自然・環境分野に対する満足度	21
(6) 安全・安心分野に対する満足度	23
(7) 産業分野に対する満足度	25
(8) 都市基盤分野に対する満足度	27
7 特に不満な点	29
8 今後の居住意向	30
9 市外に移りたい理由	32
10 政策重視度順位	33
11 今後重視すべき施策	34
12 今後めざすべき都市像	42

資料：市民アンケート自由回答 分野別  
アンケートのおねがい  
アンケート調査用紙

# 調 査 概 要

## 1 調査の目的

この市民アンケート調査は、第4次総合計画の策定に先だって、河内長野市の現況に対する認識、行政への評価、将来のまちづくりに関する期待などについて市民の意識を調査することを目的として実施しました。

## 2 調査の方法

### (1) 調査対象

平成15年7月1日現在で、16歳以上の市民（外国人登録を含む）の中から、小学校区別及び男女別人口を考慮して3,081人を無作為抽出しました。

### (2) 調査の実施方法

アンケート用紙の送付・回収とも郵送にて行いました。なお、途中はがきにより、回答要請を行いました。

### (3) 調査期間

平成15年7月16日（水）から平成15年8月12日（火）まで

### (4) 回収状況

発 送 数	3,081	不 到 達 数	10
有効発送数	3,071		
有効回答数	1,842	有効回答率	60.0%

### 小学校区別の有効回答状況

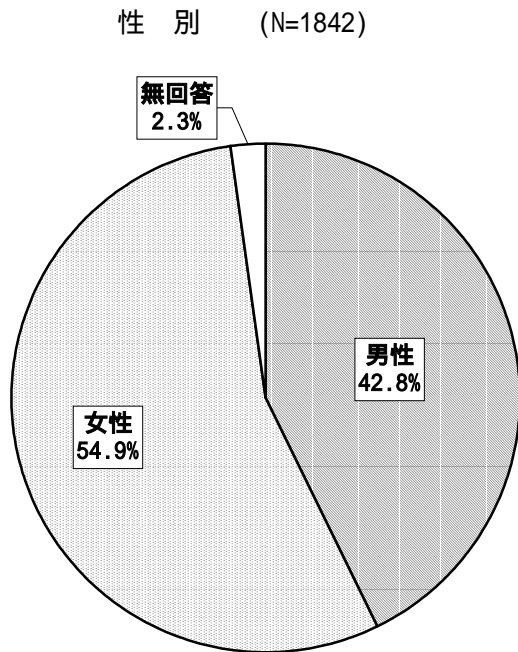
小学校区	送付数	有効回答数	有効回答率
長野小学校	391	239	61.1%
小山田小学校	238	165	69.3%
天野小学校	154	76	49.4%
高向小学校	137	80	58.4%
三日市小学校	371	239	64.4%
天見小学校	34	21	61.8%
川上小学校	182	94	51.6%
千代田小学校	405	218	53.8%
楠小学校	321	181	56.4%
加賀田小学校	199	134	67.3%
石仏小学校	160	109	68.1%
南花台東小学校	145	85	58.6%
美加の台小学校	215	131	60.9%
南花台西小学校	119	70	58.8%
合計	3,071	1,842	60.0%

# 調査結果

## 1 回答者の属性

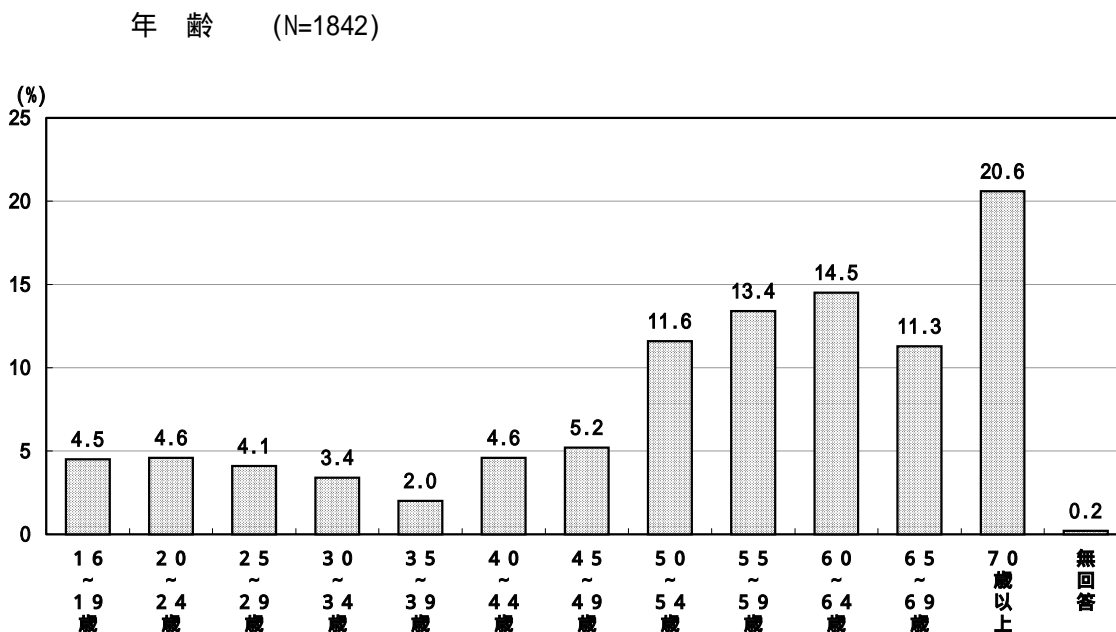
有効回答のあった1,842人の属性は、以下の通りです。

性別は、「男性」が42.8%、「女性」が54.9%となっています。



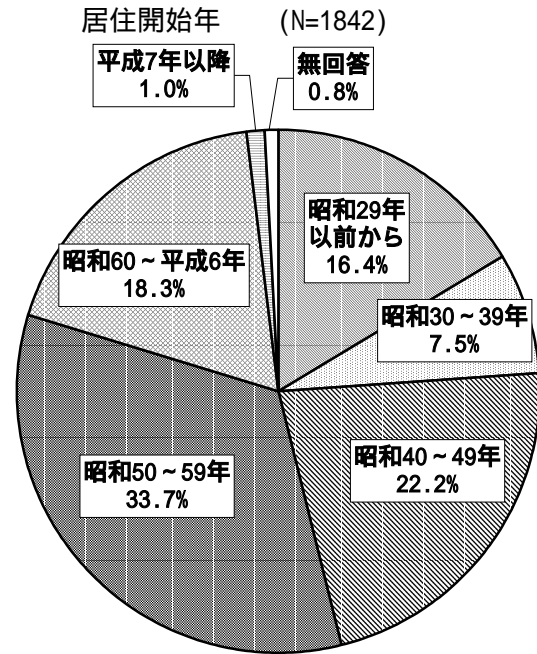
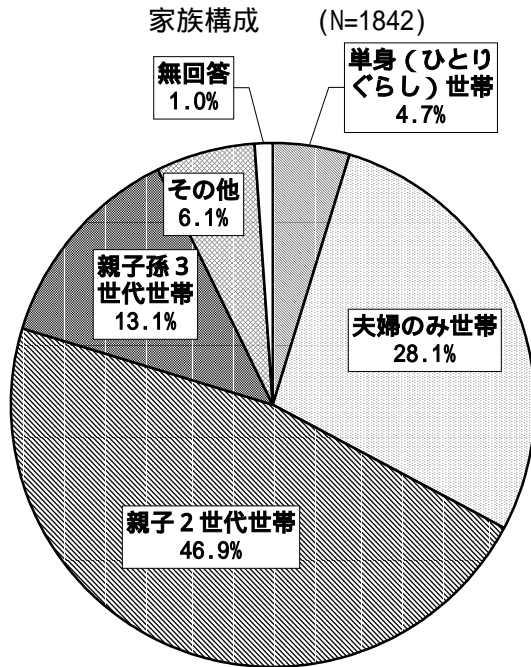
(注) 図表中の「N =」は当該質問の回答者数を表しています。比率(パーセント)を算出する時の母数です。

年齢についてみると、「70歳以上」の割合が20.6%と最も高く、「60～64歳」が14.5%、「55～59歳」が13.4%、「50～54歳」が11.6%、「65～69歳」が11.3%と続いています。



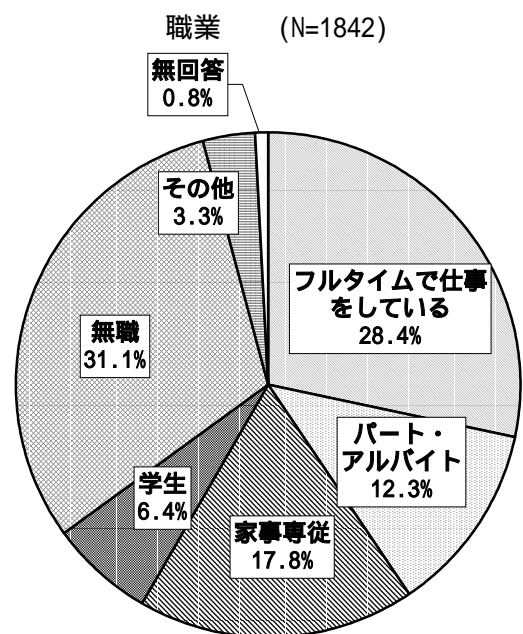
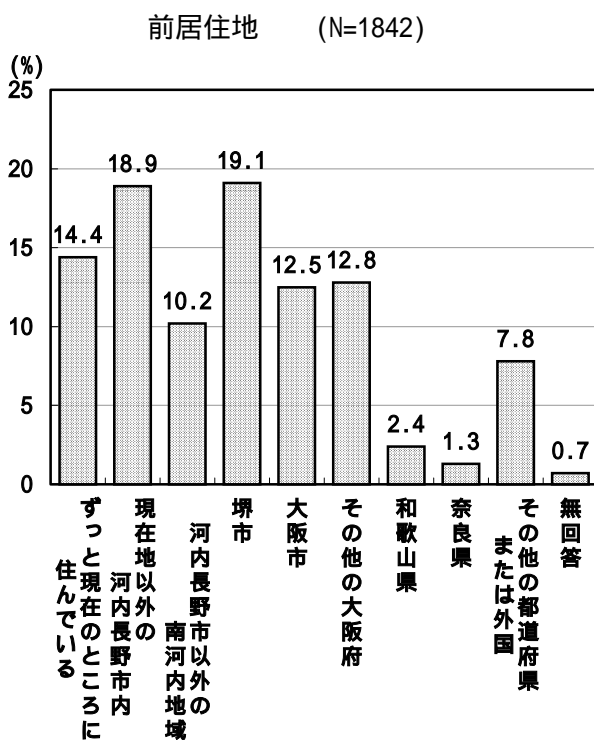
家族構成は、「親子2世代世帯」が46.9%とほぼ半数を占めています。ついで、「夫婦のみ世帯」が28.1%、「親子孫3世代世帯」が13.1%、「単身世帯」が4.7%、「その他」が6.1%です。

河内長野市に居住を開始した時期をみると、「昭和50～59年」が33.7%と約3分の1を占めています。ついで、「昭和40～49年」が22.2%、「昭和60年～平成6年」が18.3%となっています。

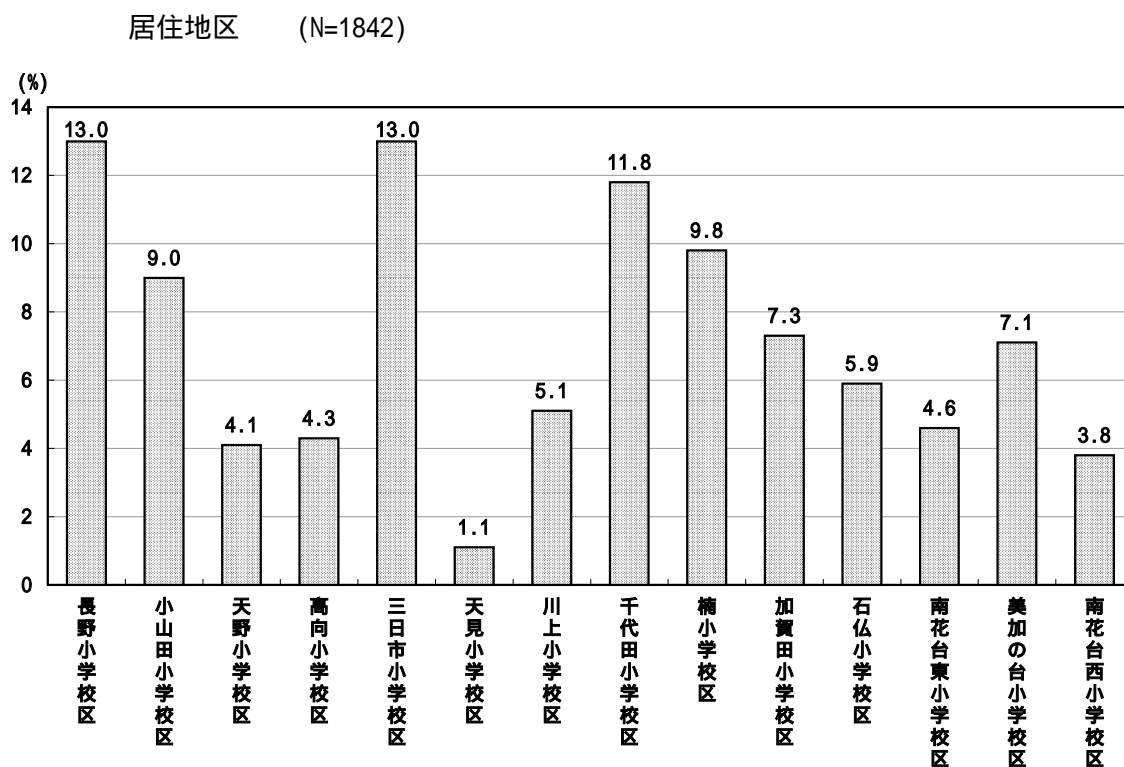


現在の住居に居住する前の市町村としては、「堺市」(19.1%)と「現在地以外の河内長野市」(18.9%)がほぼ2割弱で並んでいます。

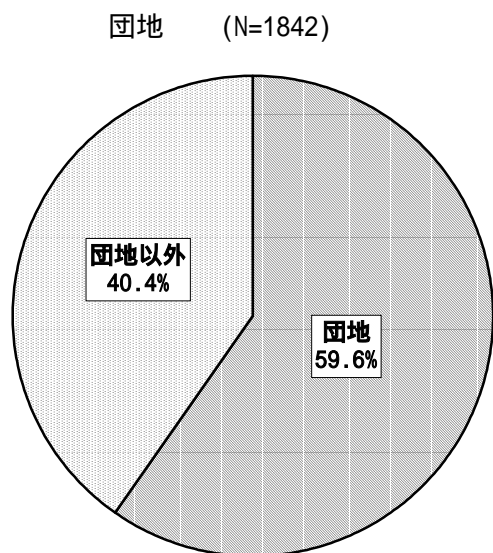
職業は、「無職」の割合が31.1%と最も高く、以下、「フルタイムで仕事をしている」(28.4%)、「家事専従」(17.8%)、「パート・アルバイト」(12.3%)と続いています。



居住地区は、「長野小学校区」と「三田市小学校区」が 13.0%で並び、以下、「千代田小学校区」が 11.8%、「楠小学校区」が 9.8%、「小山田小学校区」が 9.0%、「加賀田小学校区」が 7.3%、「美加の台小学校区」が 7.1%と続いています。



また、居住している地域が団地かどうかをみると、「団地」が 59.6%、「団地以外」が 40.4%となっています。（「団地」とは、大規模開発団地地域等をいい、「団地以外」とは、それ以外の地域をいいます。）

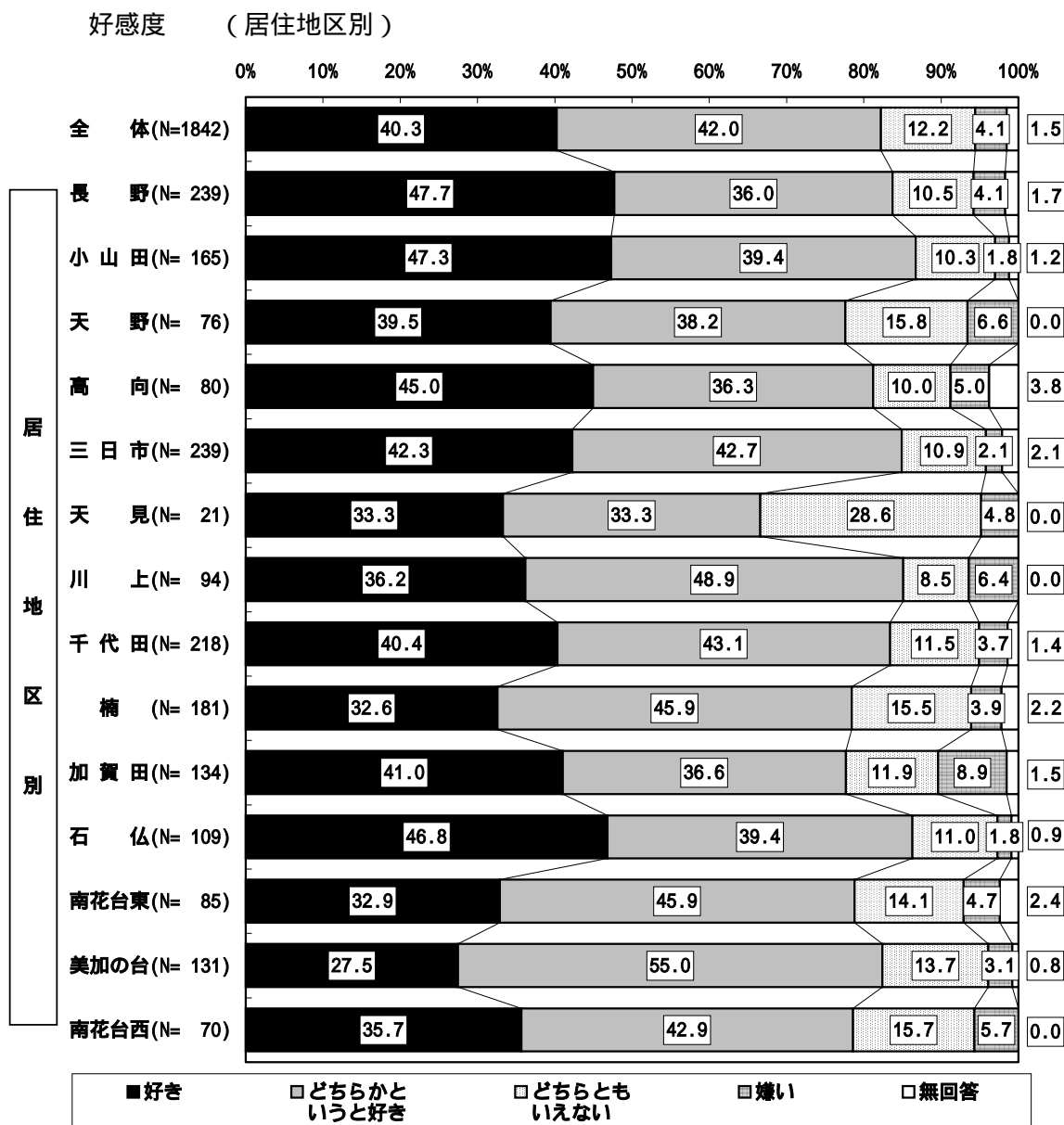




## 2 河内長野市に対する好感度

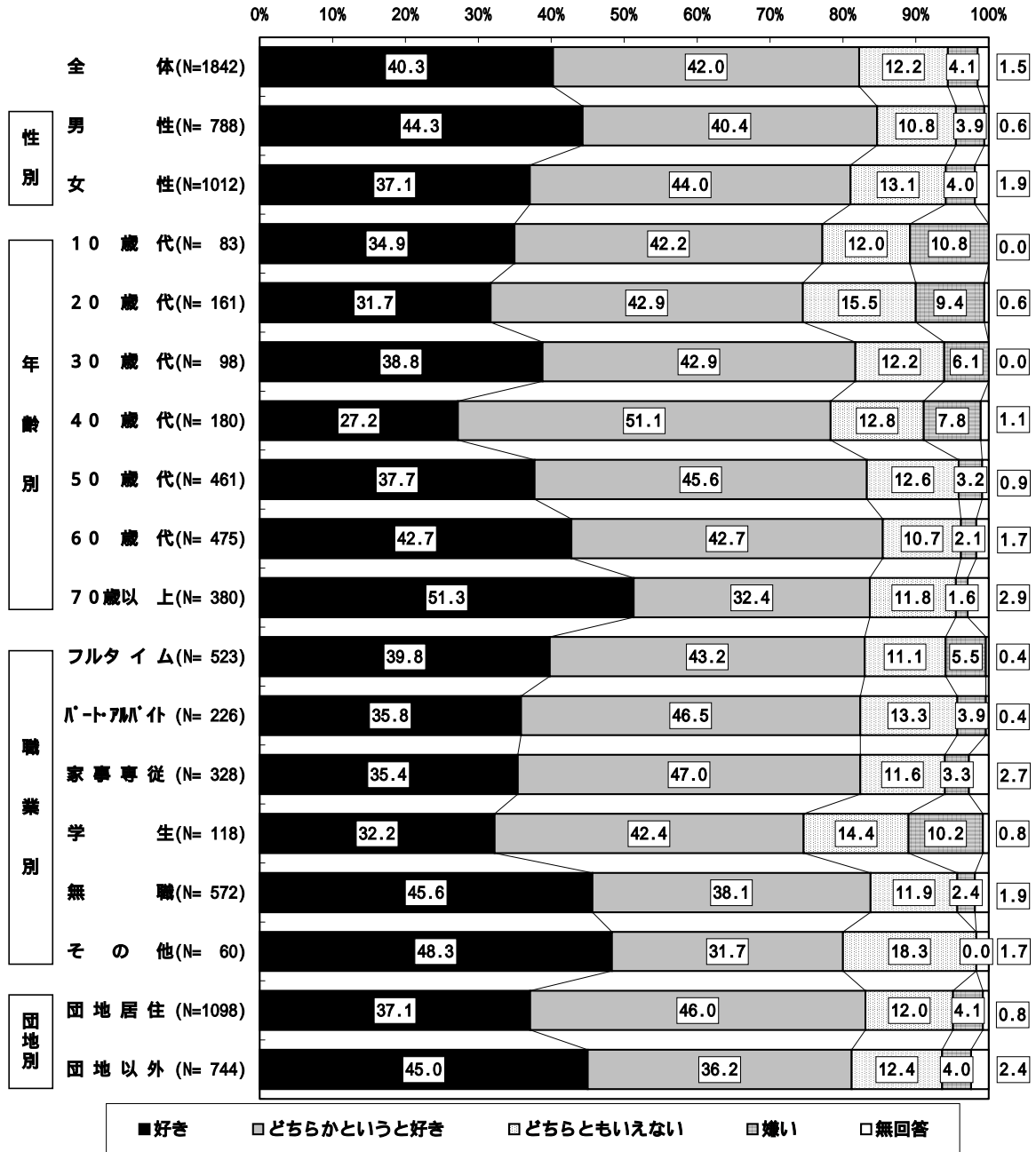
現在の河内長野市に対する好感度をみると、「好き」が40.3%、「どちらかという好き」が42.0%、両者を合計すると82.3%に達します。逆に「嫌い」(=「嫌い」+「どちらかという嫌い」)の割合は4.1%と低くなっています。

年齢別にみると、40歳代で「好き」が27.2%と最も低く、70歳以上で51.3%と最も高くなっています。どちらかという年齢の高いほど好感度も高くなる傾向にあるようです。



(注) 嫌い = 「嫌い」 + 「どちらかという嫌い」

好感度 (属性別)



(注) 嫌い = 「嫌い」 + 「どちらかという嫌い」

### 3 河内長野市が好きな理由

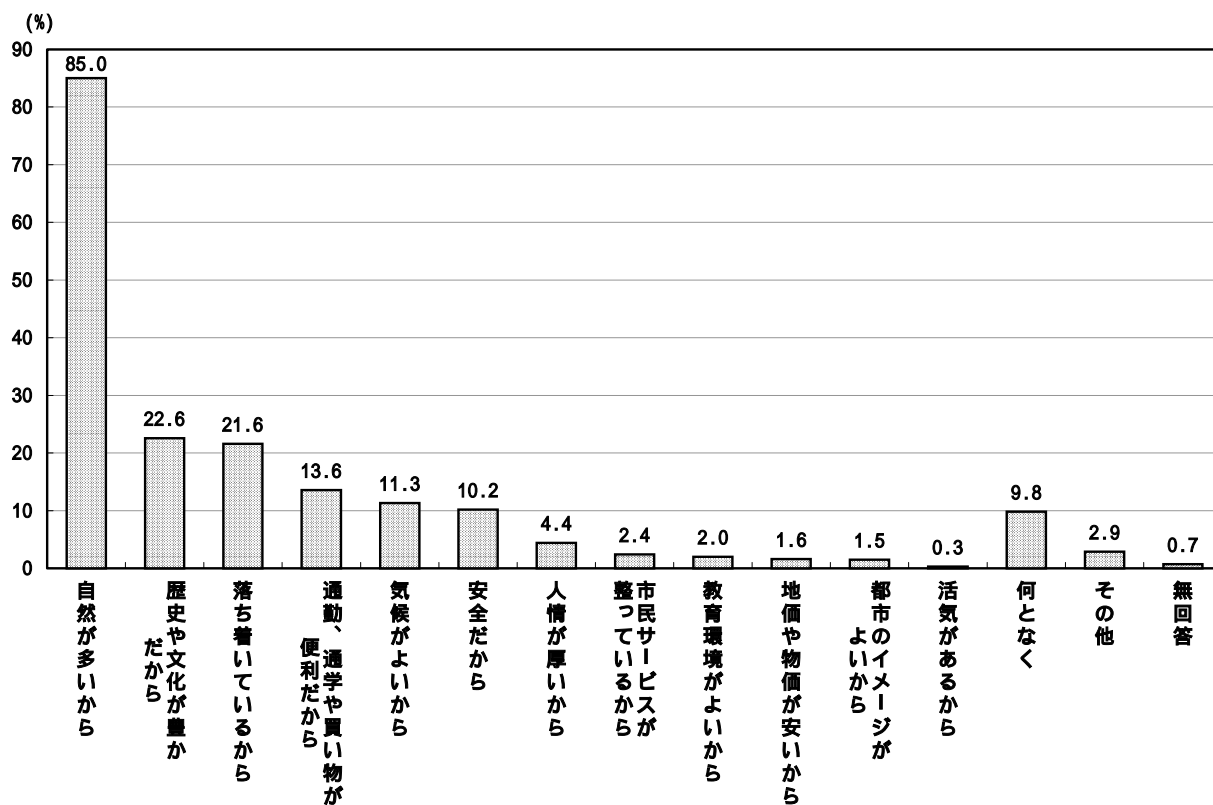
河内長野市が好き(=「好き」+「どちらかというが好き」と回答した1,516人にその理由を尋ねたところ、「自然が多いから」の割合が85.0%と圧倒的に高くなっています。これ以外では、「歴史や文化が豊かだから」(22.6%)、「落ち着いているから」(21.6%)などが高くなっています。

属性別にみても、どの属性でも「自然が多いから」が圧倒的に高くなっていますが、「落ち着いているから」は10歳代(35.9%)、20歳代(35.8%)、30歳代(30.0%)で高くなっているのに対し、「歴史や文化が豊かだから」は60歳代(30.3%)、70歳以上(31.8%)で高くなっています。また、40歳代では「通勤、通学や買い物が便利だから」が20.6%で第2位にランクされています。

団地別にみると、「通勤、通学や買い物が便利だから」は団地以外層では22.4%で好きな理由の第2位にランクされていますが、団地居住層では7.8%と低くなっています。そのかわり、「落ち着いているから」は団地居住層では24.2%ですが、団地以外層は17.7%と低くなっています。

また、「自然が多いから」は団地居住層が89.8%と団地以外層の77.8%を12ポイントも上回っている点が注目されます。

好きな理由 (全体 N=1516)



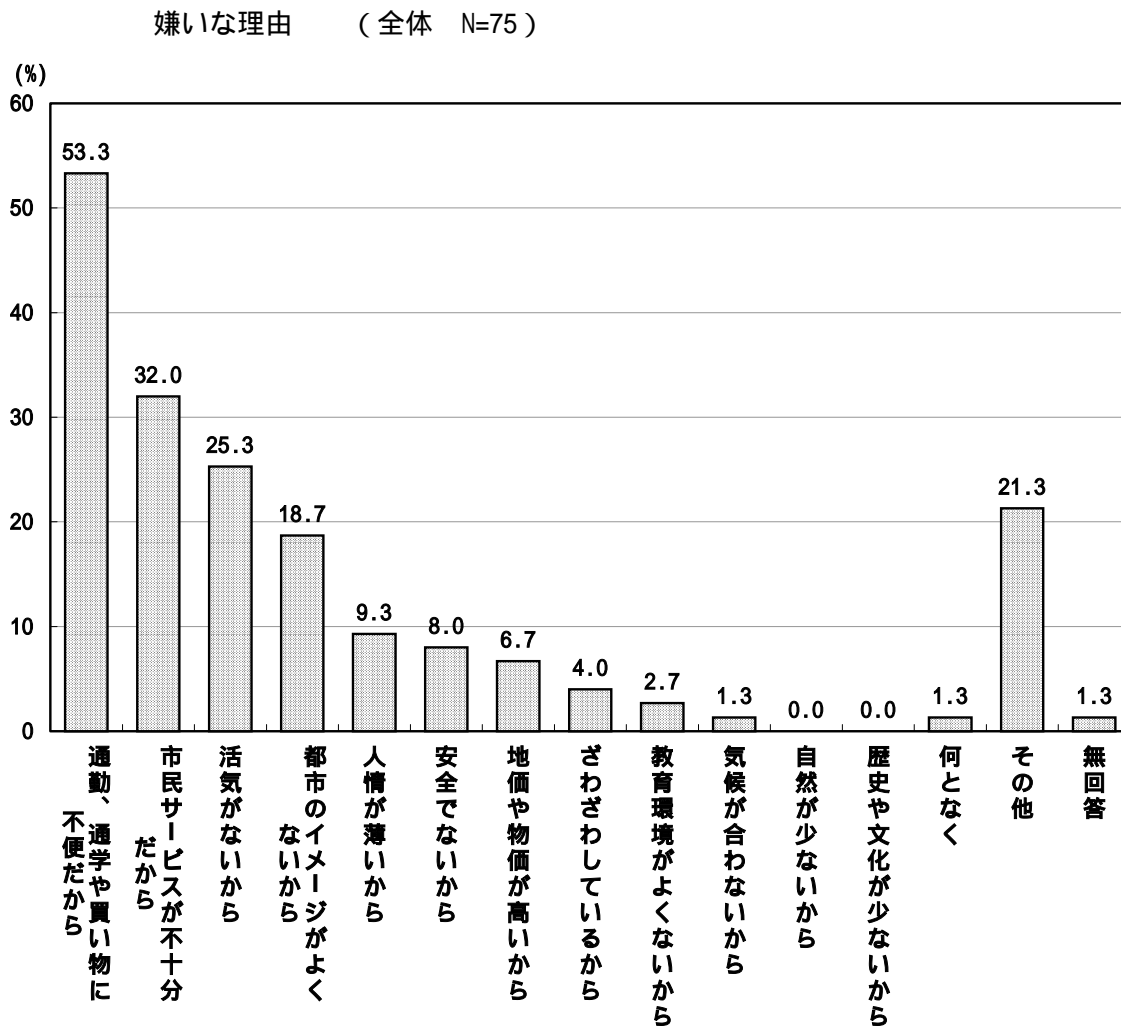
好きな理由 (居住地区別、属性別)

		サンプル数	自然が多いから	人情が厚いから	歴史や文化が豊かだから	活気があるから	落ち着いた雰囲気が	気候がよいから	安全だから	地価や物価が安いから	整った市民サービスが	通勤、通学や買い物に便利だから	教育環境がよいから	都市のイメージがよいから	何となく	その他・無回答
全 体		1516	85.0	4.4	22.6	0.3	21.6	11.3	10.2	1.6	2.4	13.6	2.0	1.5	9.8	3.6
住 居 地 区 別	長 野	200	75.5	4.0	18.5	0.5	16.0	14.5	14.0	1.5	1.0	<b>31.0</b>	0.5	-	9.0	4.0
	小 山 田	143	85.3	6.3	23.1	-	23.8	11.9	4.2	0.7	5.6	9.8	0.7	1.4	11.9	2.8
	天 野	59	<b>91.5</b>	5.1	23.7	-	22.0	8.5	8.5	3.4	-	-	1.7	3.4	<b>15.3</b>	6.8
	高 向	65	86.2	9.2	20.0	-	16.9	15.4	7.7	1.5	1.5	15.4	6.2	1.5	6.2	1.5
	三 日 市	203	83.7	5.9	<b>30.0</b>	-	18.7	6.9	10.3	0.5	1.0	16.3	1.0	1.0	8.9	6.4
	天 見	14	<b>92.9</b>	<b>21.4</b>	21.4	-	14.3	-	7.1	-	7.1	14.3	-	<b>7.1</b>	14.3	-
	川 上	80	<b>91.3</b>	5.0	22.5	1.3	<b>30.0</b>	8.8	10.0	-	1.3	5.0	-	1.3	13.8	1.3
	千 代 田	182	78.0	2.7	19.2	-	24.2	11.0	8.8	1.6	2.2	<b>22.0</b>	1.6	1.6	6.6	3.8
	楠	142	81.7	2.8	21.8	0.7	19.7	9.9	13.4	4.2	0.7	18.3	0.7	4.2	9.2	2.8
	加 賀 田	104	<b>97.1</b>	3.8	<b>29.8</b>	-	24.0	<b>18.3</b>	3.8	1.0	1.0	3.8	2.9	1.0	6.7	1.9
	石 仏	94	89.4	6.4	<b>33.0</b>	-	22.3	9.6	13.8	2.1	6.4	1.1	3.2	-	9.6	3.2
	南 花 台 東	67	86.6	1.5	16.4	-	19.4	14.9	<b>17.9</b>	3.0	1.5	7.5	3.0	-	11.9	4.5
	美 加 の 台	108	<b>91.7</b>	-	14.8	0.9	24.1	13.9	13.0	1.9	4.6	2.8	4.6	1.9	13.0	2.8
南 花 台 西	55	<b>90.9</b>	3.6	14.5	-	<b>30.9</b>	5.5	3.6	1.8	5.5	3.6	<b>7.3</b>	1.8	12.7	1.8	
性 別	男 性	667	86.8	4.9	24.7	0.3	22.3	11.2	8.1	1.0	1.8	13.2	1.8	1.9	9.1	3.7
	女 性	820	84.0	3.8	21.2	0.2	20.9	11.2	11.5	2.2	2.8	14.0	2.2	1.1	10.7	3.3
年 齢 別	1 0 歳代	64	73.4	3.1	1.6	3.1	<b>35.9</b>	9.4	<b>15.6</b>	1.6	-	10.9	1.6	4.7	<b>23.4</b>	3.2
	2 0 歳代	120	83.3	3.3	8.3	-	<b>35.8</b>	3.3	<b>19.2</b>	2.5	0.8	8.3	0.8	1.7	14.2	5.8
	3 0 歳代	80	87.5	6.3	18.8	-	<b>30.0</b>	10.0	11.3	1.3	2.5	5.0	3.8	1.3	12.5	2.5
	4 0 歳代	141	85.1	5.0	12.1	-	18.4	10.6	11.3	4.3	2.1	<b>20.6</b>	5.7	0.7	9.9	4.2
	5 0 歳代	384	89.3	3.1	19.5	0.3	19.5	10.7	9.1	1.8	1.3	18.0	2.6	0.8	9.9	3.2
	6 0 歳代	406	86.7	3.4	<b>30.3</b>	0.2	18.7	13.3	8.1	0.7	2.7	13.1	-	2.0	7.9	3.5
	7 0 歳以上	318	80.2	7.2	<b>31.8</b>	-	18.6	13.8	8.8	1.3	4.4	10.4	2.2	1.3	7.2	3.4
職 業 別	フルタイム	434	87.1	3.7	17.5	0.2	24.2	9.2	10.6	1.4	1.2	16.1	2.5	1.2	9.4	3.7
	パート・アルバイト	186	88.2	4.3	17.7	0.5	16.7	13.4	10.2	3.8	2.2	17.7	2.2	1.6	9.7	4.3
	家事専従	270	88.1	3.3	25.2	0.4	20.0	9.6	9.3	1.1	3.3	15.6	3.7	1.5	8.1	2.2
	学 生	88	78.4	2.3	9.1	1.1	<b>38.6</b>	8.0	<b>17.0</b>	1.1	-	8.0	-	4.5	<b>22.7</b>	2.2
	無 職	479	82.0	6.5	<b>29.9</b>	-	19.2	14.2	9.6	1.3	3.5	9.2	1.0	1.3	8.6	3.6
	そ の 他	48	83.3	2.1	22.9	-	14.6	12.5	6.3	4.2	-	<b>18.8</b>	-	-	12.5	8.3
団 地 別	団 地 住 居	912	89.8	1.8	23.5	0.2	24.2	11.0	10.5	1.6	3.2	7.8	2.2	1.4	10.0	3.3
	団 地 以 外	604	77.8	8.4	21.2	0.3	17.7	11.9	9.6	1.7	1.2	<b>22.4</b>	1.7	1.5	9.6	4.0

(注) **太字** は全体よりも5ポイント以上高い項目。ただし、「その他・無回答」は除く。

#### 4 河内長野市が嫌いな理由

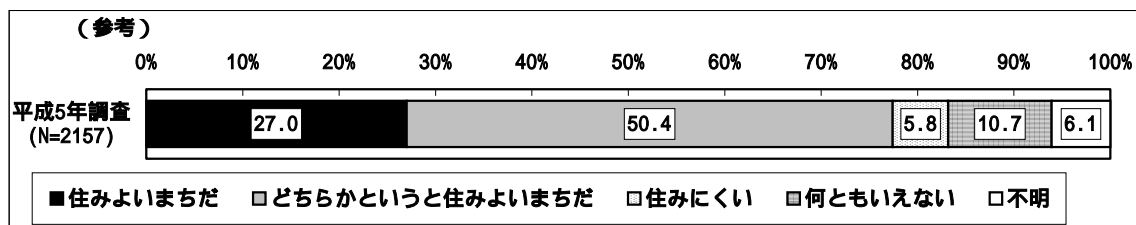
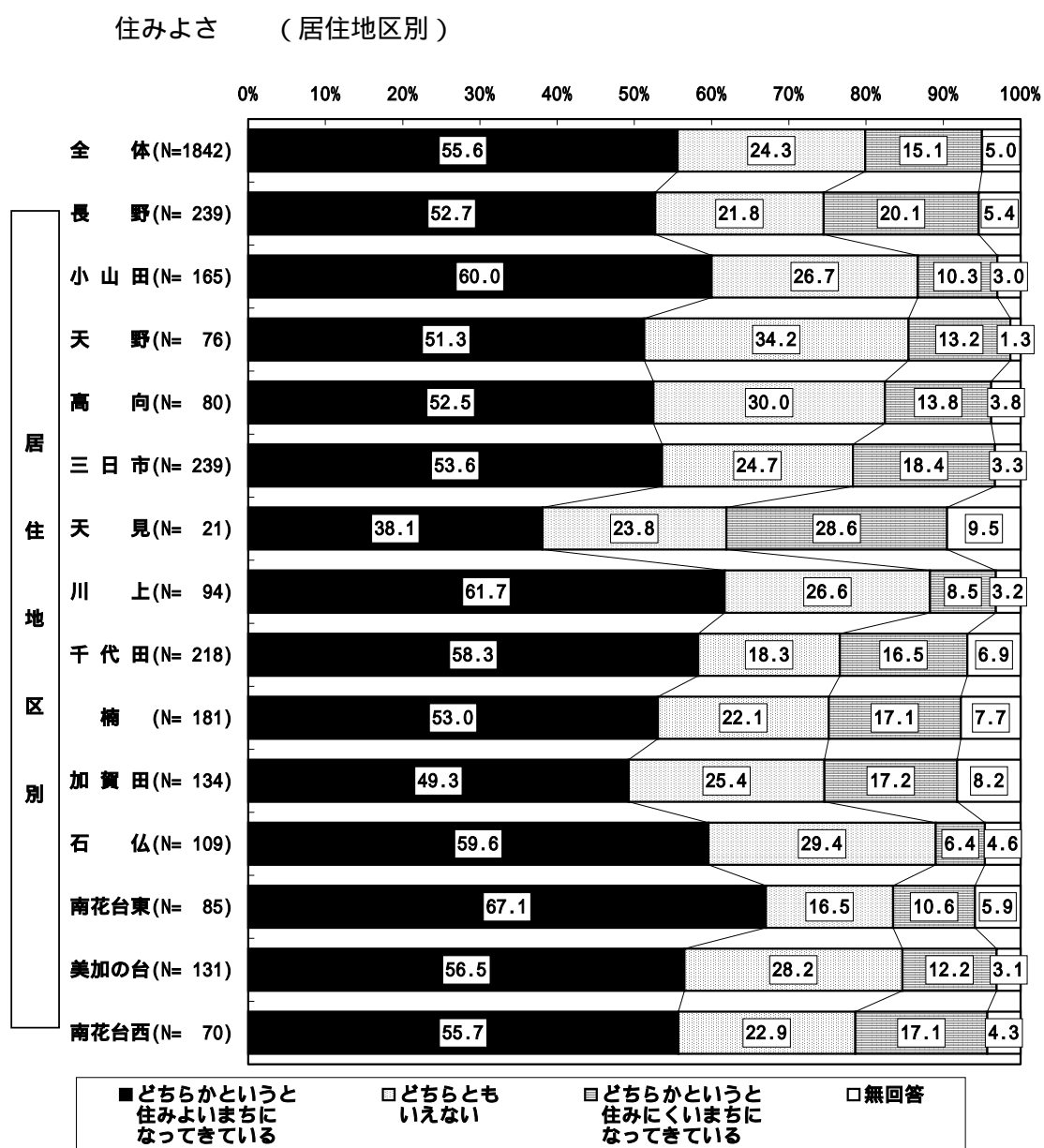
河内長野市が嫌い(=「嫌い」+「どちらかという嫌い」と回答した75人にその理由を尋ねたところ、割合が最も高かったのが「通勤、通学や買い物に不便だから」の53.3%です。ついで、「市民サービスが不十分だから(32.0%)」「活気がないから(25.3%)」「都市のイメージがよくないから(18.7%)」と続いています。



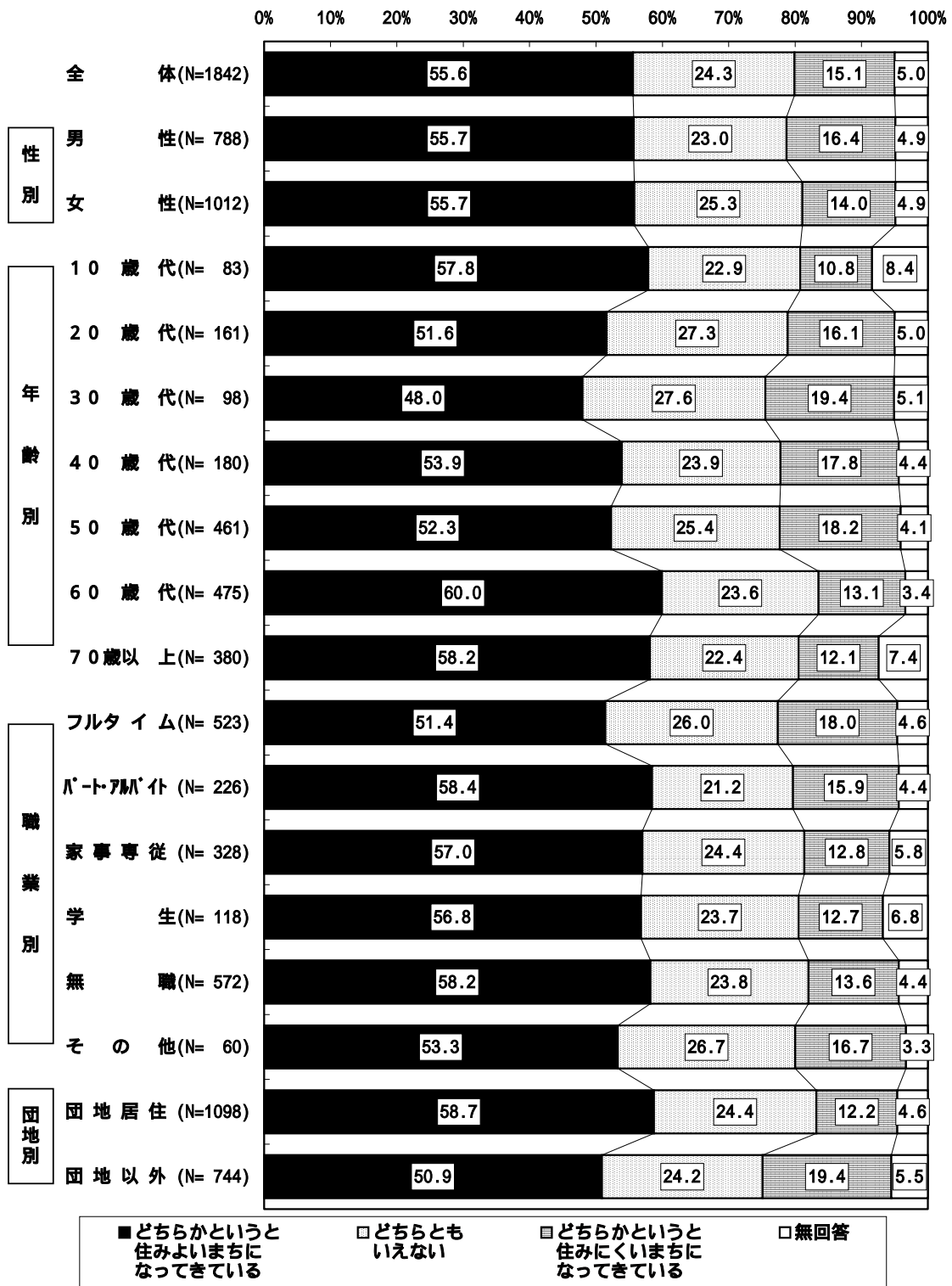
## 5 河内長野市の住みよさ

河内長野市が住みよいまちになってきているかどうかをみると、「どちらかという住みよいまちになってきている」が55.6%と半数を超えています。これ対し、「どちらかという住みにくいまちになってきている」は15.1%となっています。第3次総合計画策定時に行った調査（平成5年3月）では、その時点での住みよさについて聞いており、「どちらかといえば住みよいまちだ」が50.4%、「住みよいまちだ」が27.0%（合わせて77.4%）、「住みにくい」が5.8%でした。

居住地区別にみると、「どちらかという住みにくいまちになってきている」が天見（28.6%）、長野（20.1%）で20%を超えています。



住みよさ (属性別)



## 6 市の現状に対する満足度

現在の河内長野市の環境に対する市民の評価を把握するために、下記に示す 6 分野 24 項目に市全体評価を加えた 25 項目を提示して、その満足度を 5 段階で尋ねました。

### 1 . 健康・福祉分野

高齢者・障害者などにとっての暮らしやすさ  
児童に対する福祉や子育てのしやすさ  
スポーツなど健康づくりの場や機会  
以上を含めたまち全体としての「健康・福祉」について

### 2 . 教育・文化分野

生涯学習の環境  
文化・芸術活動などの環境  
小中学校や幼稚園の教育環境  
以上を含めたまち全体としての「教育・文化」について

### 3 . 自然・環境分野

リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ  
町並み・自然・歴史などの美しさ  
騒音・悪臭などの少なさ  
以上を含めたまち全体としての「自然や環境への配慮」について

### 4 . 安全・安心分野

交通安全  
防犯  
消防・救急・防災  
以上を総合したまち全体としての「安全・安心」について

### 5 . 産業分野

商業地などのにぎわい  
日常的なレジャーや娯楽などの環境  
身近な場での働きやすさ  
以上を総合したまち全体としての「産業の活性化」について

### 6 . 都市基盤分野

バスなどの公共交通サービス  
道路や橋などの交通網  
公園や緑地などの環境  
以上を総合したまち全体としての「都市基盤の整備」について

市全体としての評価

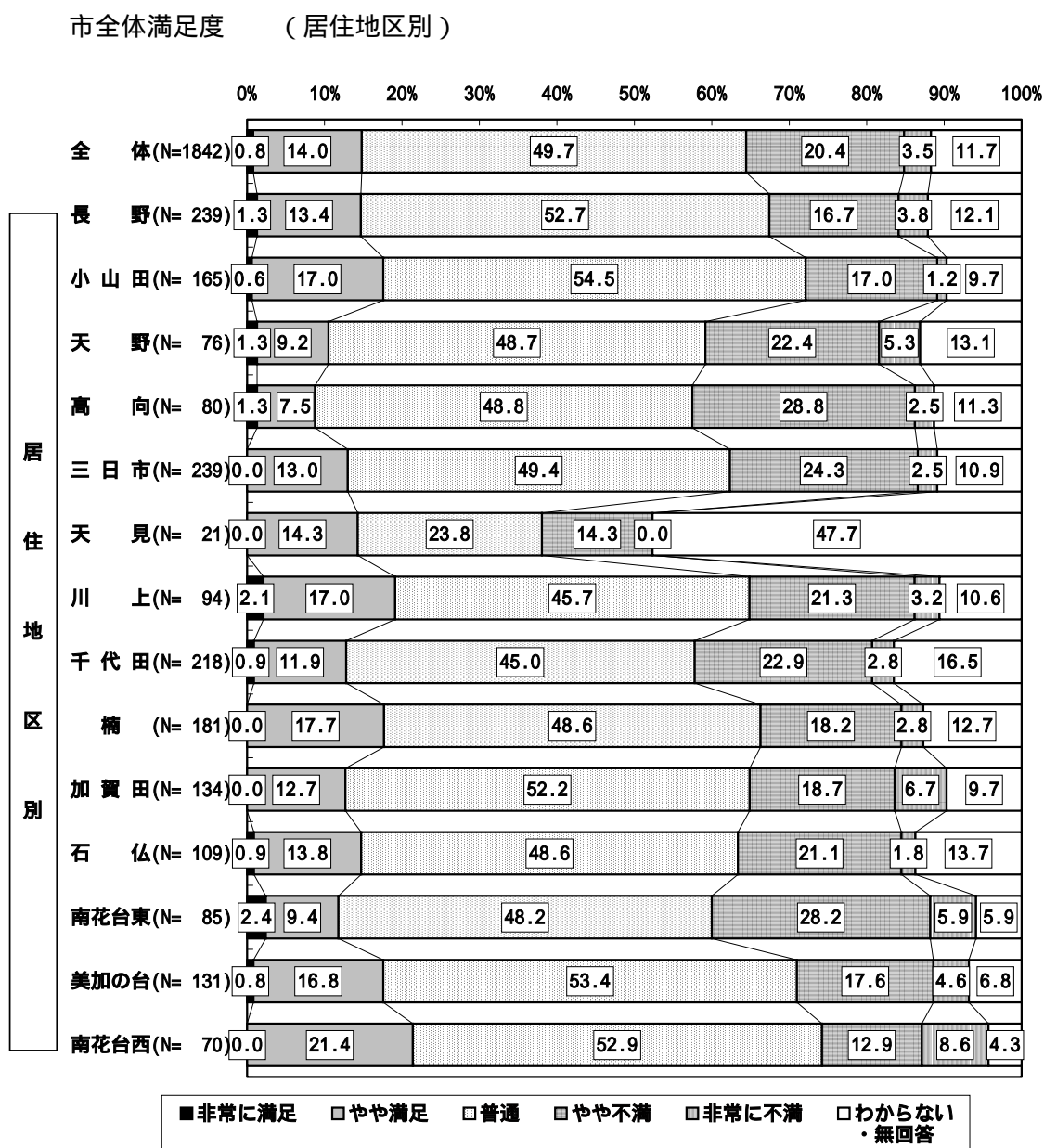


### (1) 市全体に対する満足度

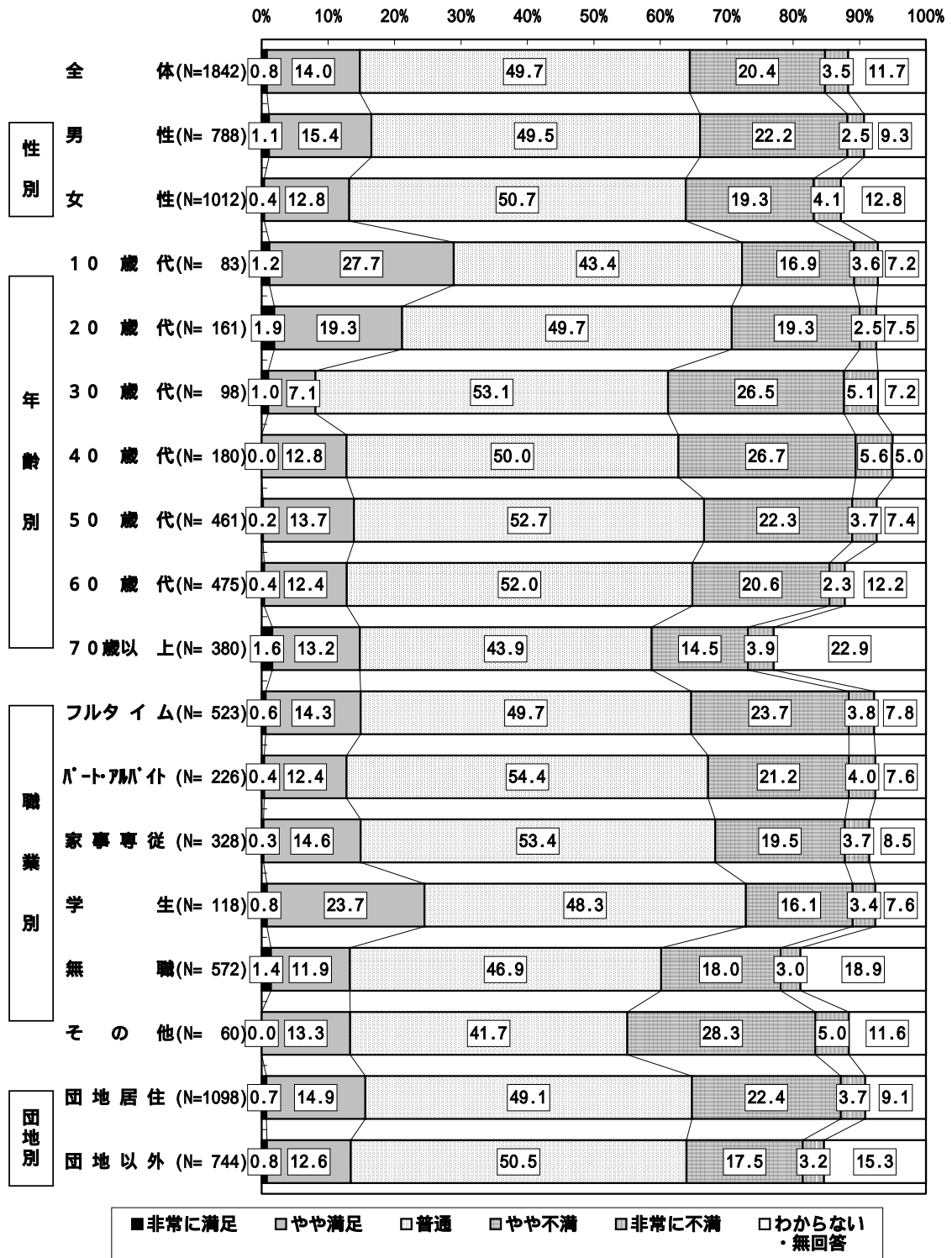
現在の河内長野市の環境について、まず、市全体に対する満足度をみると、「非常に満足」は0.8%しかなく、「やや満足」が14.0%、両者を合わせた満足層は14.8%にとどまっています。一方、不満層は23.9%（＝「やや不満」20.4%＋「非常に不満」3.5%）で、満足層を9.1ポイント上回っています。

居住地区別にみると、満足層が不満層を上回った地区はありません。中でも、不満層は南花台東（34.1%）、高向（31.3%）で高くなっています。

年齢別にみると、10歳代で満足層が不満層を上回っているのみで、20歳代以上はすべて不満層が満足層を上回っています。不満層は40歳代（32.3%）、30歳代（31.6%）で高くなっています。



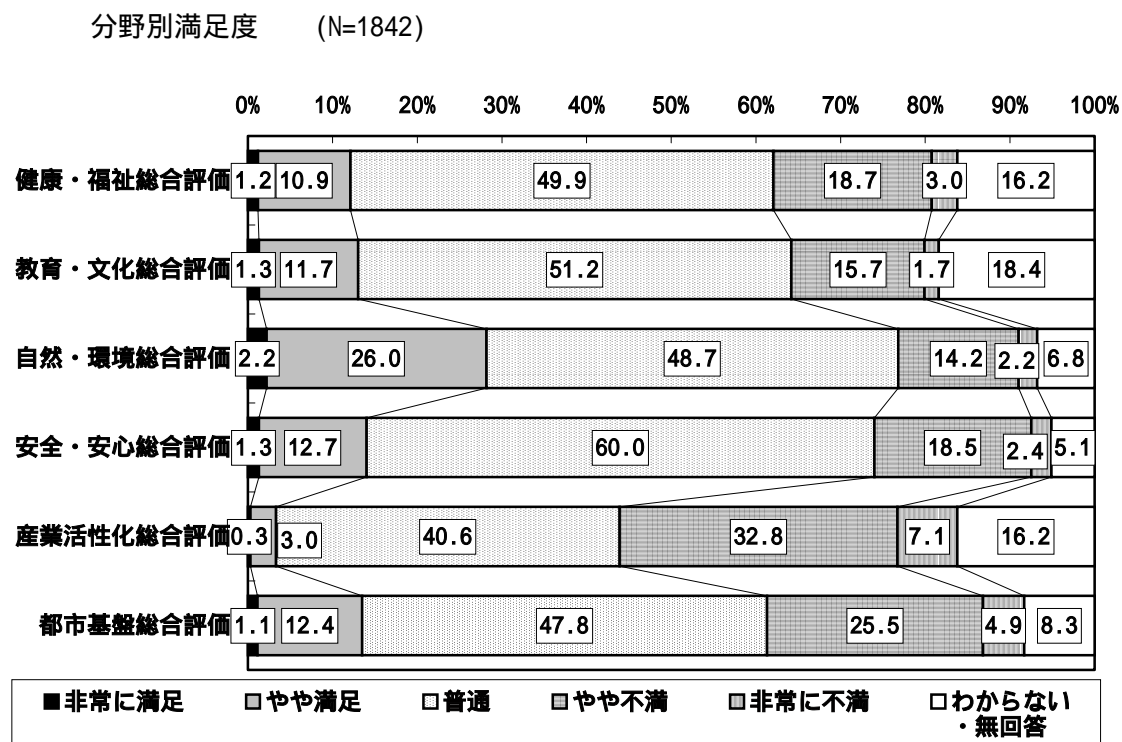
市全体に対する満足度 (属性別)



## (2) 分野別満足度

6分野別の満足度をみると、満足層が不満層を上回ったのは、自然・環境分野のみで、その他の5分野はすべて不満層が満足層を上回っています。

その中でも不満層の割合が高いのが産業分野で、満足層の割合はわずか3.3%ですが、不満層は39.9%に達しており、その差は36.6ポイントとなっています。



### (3) 健康・福祉分野に対する満足度

健康・福祉分野の総合評価では、満足層は 12.1%（「非常に満足」1.2% + 「やや満足」10.9%）、不満層が 21.7%（「非常に不満」3.0% + 「やや不満」18.7%）で、不満層が 9.6 ポイント上回っています。

満足層は各項目ともあまり大きな差はみられませんが、不満層は『高齢者・障害者などにとっての暮らしやすさ』で 25.8% と最も高くなっています。

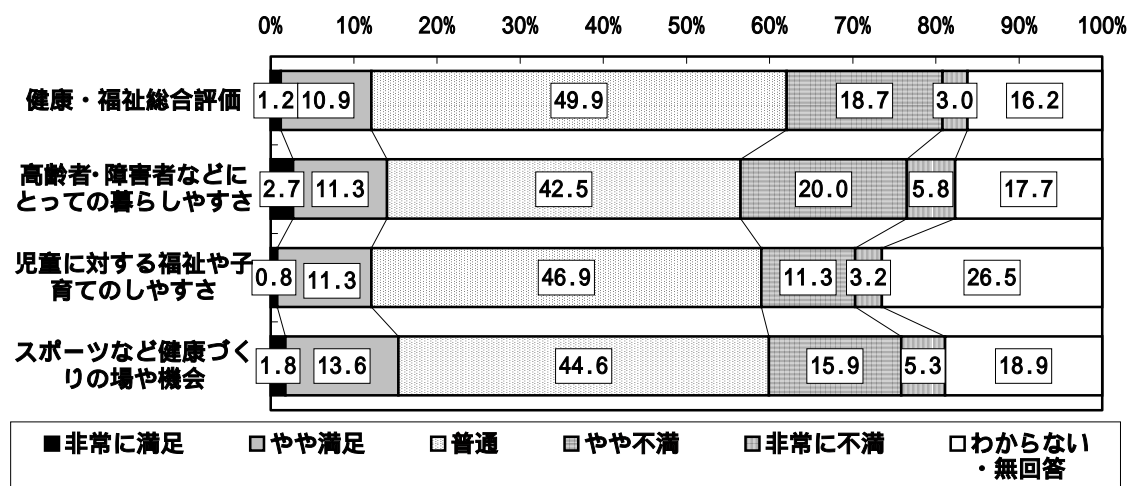
また、P18 の表は不満層の割合を示したものです。

居住地区別にみると、天野、天見、南花台東、美加の台で不満層の割合が高くなっています。

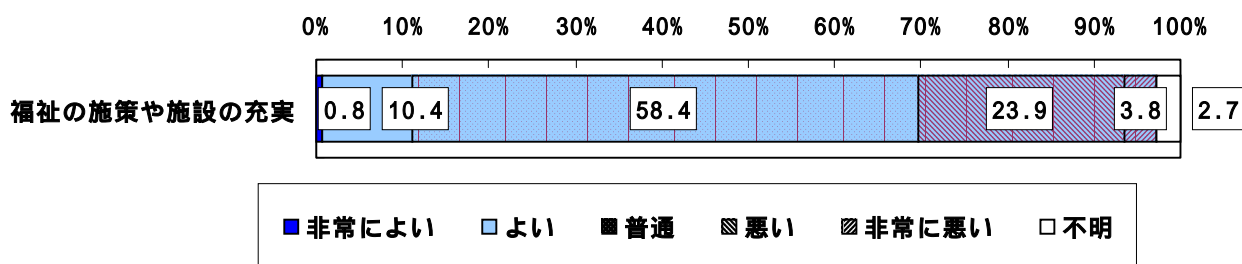
年齢別にみると、20 歳代、30 歳代、40 歳代で不満層の割合が高くなっています。

第 3 次総合計画策定時に行った調査（平成 5 年 3 月）では、「福祉の施策や施設の充実」を「非常によい」「よい」と評価する人が合わせて 11.2%、「悪い」「非常に悪い」が合わせて 27.7% でしたので、マイナス評価はやや改善したものの、全体的な評価はあまり変わっていないといえます。

健康・福祉分野別満足度 (N=1842)



(参考) 第 3 次総合計画策定時の調査結果 (平成 5 年 3 月)



健康・福祉分野別に対する不満割合 (居住地区別、属性別)

	サンプル数	高齢者・障害者など すにとつての暮らしなど	子育てのしやすさ	くスポーツなど健康づ りの場や機会	福祉とを 以上を含めたまち・全 社としての健康・全	
全 体	1842	25.8	14.5	21.2	21.7	
居 住 地 区 別	長 野	239	26.8	14.6	24.3	22.2
	小 山 田	165	18.7	12.7	15.7	18.2
	天 野	76	29.0	17.1	19.7	<b>30.3</b>
	高 向	80	26.3	16.3	<b>28.8</b>	20.1
	三 日 市	239	21.8	16.3	19.7	17.2
	天 見	21	<b>33.3</b>	14.3	<b>28.6</b>	<b>28.6</b>
	川 上	94	27.7	12.8	17.0	20.2
	千 代 田	218	28.0	13.3	18.8	24.3
	楠	181	20.4	17.7	20.4	19.9
	加 賀 田	134	30.6	12.0	19.4	21.7
	石 仏	109	26.6	5.5	15.6	13.7
	南 花 台 東	85	30.6	<b>20.0</b>	<b>28.2</b>	<b>32.9</b>
	美 加 の 台	131	<b>31.3</b>	15.3	<b>28.3</b>	<b>26.8</b>
	南 花 台 西	70	24.3	15.7	22.8	22.8
性 別	男 性	788	23.7	14.9	22.5	20.7
	女 性	1012	27.3	14.4	20.2	22.8
年 齢 別	1 0 歳 代	83	25.3	9.6	<b>27.7</b>	13.2
	2 0 歳 代	161	29.8	<b>23.6</b>	<b>33.0</b>	<b>29.2</b>
	3 0 歳 代	98	30.6	<b>24.4</b>	<b>36.7</b>	<b>29.6</b>
	4 0 歳 代	180	<b>36.1</b>	<b>29.4</b>	<b>30.0</b>	<b>37.2</b>
	5 0 歳 代	461	26.7	15.6	21.5	25.6
	6 0 歳 代	475	23.0	9.9	18.1	15.6
	7 0 歳 以上	380	20.5	6.6	9.7	14.0
職 業 別	フルタイム	523	26.8	18.9	<b>27.2</b>	26.6
	パート・アルバイト	226	25.7	18.2	25.7	24.3
	家事専従	328	<b>30.8</b>	11.0	18.6	23.1
	学 生	118	28.8	16.1	<b>33.1</b>	17.8
	無 職	572	22.3	10.3	13.3	16.6
そ の 他	60	20.0	<b>21.7</b>	16.6	21.6	
団 地 別	団 地 居 住	1098	26.4	14.2	21.2	22.1
	団 地 以 外	744	24.9	14.9	21.0	21.1

(注) **太字** は全体よりも5ポイント以上高い項目。

#### (4) 教育・文化分野に対する満足度

教育・文化分野の総合評価では、満足層は 13.0%（「非常に満足」1.3% + 「やや満足」11.7%）、不満層が 17.4%（「非常に不満」1.7% + 「やや不満」15.7%）で、不満層が 4.4 ポイント上回っています。

項目ごとにみても、満足層、不満層の割合にあまり大きな差はみられません。

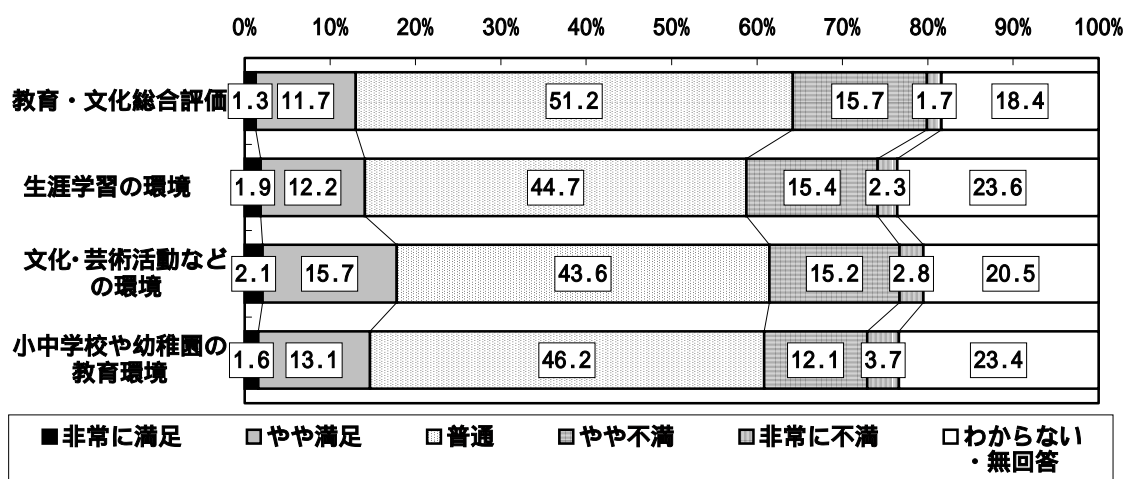
また、P20 の表は不満層の割合を示したものです。

居住地区別にみると、天見で不満層の割合が高くなっています。

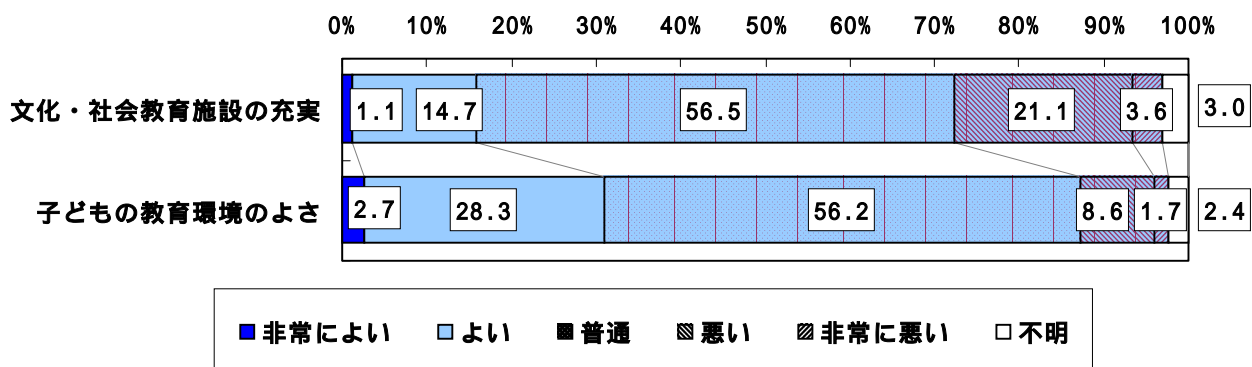
年齢別にみると、30 歳代、40 歳代で不満層の割合が高くなっています。

第 3 次総合計画策定時に行った調査（平成 5 年 3 月）では、「文化・社会教育施設の充実」を「非常によい」「よい」と評価する人が合わせて 15.8%、「悪い」「非常に悪い」が合わせて 24.7%、「子供の教育環境のよさ」を「非常によい」「よい」と評価する人が合わせて 31.0%、「悪い」「非常に悪い」が合わせて 10.3%でしたので、全体的な評価は下がってきているといえます。

教育・文化分野別満足度 (N=1842)



(参考) 第 3 次総合計画策定時の調査結果 (平成 5 年 3 月)



教育・文化分野別に対する不満割合 (居住地区別、属性別)

	サンプル数	生涯学習の環境	の文化環境・芸術活動など	小中学校や幼稚園の教育環境	文化としてついでに教育・全	以上を含めたまち・全
全体	1842	17.7	18.0	15.8	17.4	
居住地区別	長野	239	18.4	17.6	15.1	15.9
	小 山 田	165	12.7	13.9	17.0	14.5
	天 野	76	22.4	17.1	13.2	18.4
	高 向	80	<b>26.3</b>	22.5	17.6	20.0
	三 日 市	239	15.9	15.5	15.9	16.3
	天 見	21	<b>23.8</b>	19.0	<b>23.8</b>	<b>33.3</b>
	川 上	94	11.7	16.0	12.7	17.0
	千 代 田	218	17.5	15.2	<b>21.6</b>	20.6
	楠	181	17.7	18.2	18.2	15.5
	加 賀 田	134	17.2	17.9	15.7	17.2
	石 仏	109	15.6	16.5	11.0	13.7
	南 花 台 東	85	21.1	22.4	11.8	20.0
	美 加 の 台	131	<b>23.7</b>	<b>30.5</b>	13.8	20.6
	南 花 台 西	70	12.8	18.5	10.0	17.1
性別	男 性	788	18.1	17.8	17.9	18.9
	女 性	1012	17.0	18.2	13.9	16.0
年齢別	10歳代	83	15.7	19.3	20.5	16.9
	20歳代	161	21.2	<b>26.7</b>	15.5	16.7
	30歳代	98	18.3	<b>23.5</b>	<b>23.4</b>	<b>24.4</b>
	40歳代	180	<b>22.8</b>	<b>23.3</b>	<b>30.0</b>	<b>25.6</b>
	50歳代	461	19.7	17.8	15.6	19.7
	60歳代	475	17.5	17.7	13.9	16.5
	70歳以上	380	11.6	10.8	8.7	10.5
職業別	フルタイム	523	19.2	18.5	20.3	19.9
	パート・アルバイト	226	<b>23.0</b>	<b>24.3</b>	19.0	20.8
	家事専従	328	17.9	18.6	12.2	17.7
	学 生	118	19.5	<b>27.1</b>	18.7	17.8
	無 職	572	14.0	13.3	11.9	13.7
その他	60	15.0	15.0	16.7	18.3	
団地別	団地居住	1098	18.6	20.0	14.5	17.9
	団地以外	744	16.1	15.1	17.7	16.8

(注) **太字** は全体よりも5ポイント以上高い項目。

### (5) 自然・環境分野に対する満足度

自然・環境分野の総合評価では、満足層は 28.2%（「非常に満足」2.2% + 「やや満足」26.0%）、不満層が 16.4%（「非常に不満」2.2% + 「やや不満」14.2%）で、満足層が 11.8 ポイント上回っています。6 分野の中では唯一、満足層が不満層を上回った分野です。

『町並み・自然・歴史などの美しさ』では満足層が 40.9%にも達しています。ついで、『騒音・悪臭などの少なさ』が 32.9%と高くなっています。

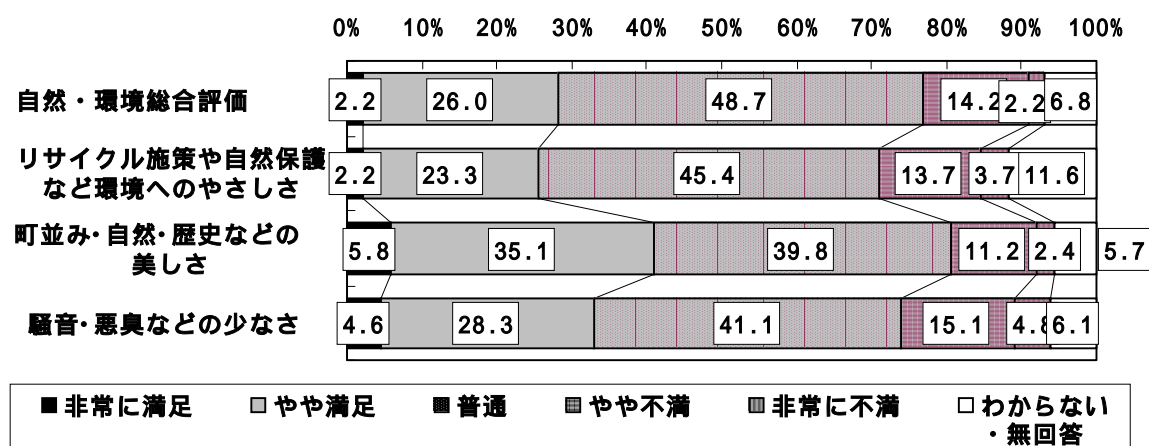
また、P22 の表は不満層の割合を示したものです。

居住地区別にみると、長野、高向で不満層の割合が高くなっています。

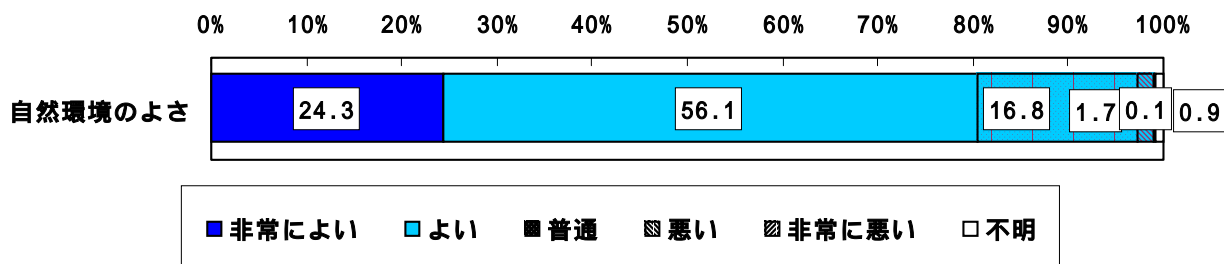
年齢別にみると、30 歳代での不満層の高さが目立ちます。

第 3 次総合計画策定時に行った調査（平成 5 年 3 月）では、「自然環境のよさ」を「非常によい」「よい」と評価する人が合わせて 80.4%、「悪い」「非常に悪い」が合わせて 18.5%でしたので、全体的な評価は下がってきているといえます。

自然・環境分野別満足度 (N=1842)



(参考) 第 3 次総合計画策定時の調査結果 (平成 5 年 3 月)





自然・環境分野別に対する不満割合 (居住地区別、属性別)

		サンプル数	自然環境への配慮 やさしさ	ライフスタイル サイクル環境への自 然保護など	町並み・自然・歴史 の美しさ	騒音・悪臭などの少 なさ	環境への配慮 「自然」	以上を含めた「たまち を自然つや全
全 体		1842	17.4	13.6	19.9	16.4		
居 住 地 区 別	長 野	239	17.5	18.4	<b>31.4</b>	<b>24.7</b>		
	小 山 田	165	13.9	7.3	18.1	12.7		
	天 野	76	<b>25.0</b>	15.8	15.7	19.8		
	高 向	80	<b>28.8</b>	16.3	<b>28.8</b>	<b>22.5</b>		
	三 日 市	239	17.1	13.0	14.2	12.9		
	天 見	21	14.3	<b>19.1</b>	19.0	19.0		
	川 上	94	22.3	8.5	6.4	11.7		
	千 代 田	218	17.4	14.2	21.1	16.9		
	楠	181	11.6	13.8	19.9	12.7		
	加 賀 田	134	14.2	8.9	14.9	9.7		
	石 仏	109	14.7	11.9	19.3	14.7		
	南 花 台 東	85	22.3	<b>18.8</b>	<b>25.8</b>	21.2		
	美 加 の 台	131	16.8	11.4	18.3	16.8		
	南 花 台 西	70	20.0	<b>20.0</b>	20.0	18.6		
性 別	男 性	788	20.6	15.8	22.1	19.3		
	女 性	1012	15.2	12.2	18.6	14.0		
年 齢 別	1 0 歳 代	83	13.2	8.4	<b>26.5</b>	15.7		
	2 0 歳 代	161	<b>25.5</b>	16.7	20.4	15.5		
	3 0 歳 代	98	21.4	<b>21.4</b>	<b>29.6</b>	<b>30.6</b>		
	4 0 歳 代	180	20.0	14.4	22.8	19.4		
	5 0 歳 代	461	20.4	16.7	21.9	19.1		
	6 0 歳 代	475	14.8	11.0	17.3	13.7		
	7 0 歳 以上	380	12.4	10.5	15.2	11.6		
職 業 別	フルタイム	523	19.7	16.6	21.1	19.7		
	パート・アルバイト	226	15.5	13.3	18.6	15.5		
	家事専従	328	16.4	11.6	20.2	13.4		
	学 生	118	22.0	14.4	24.5	19.5		
	無 職	572	15.8	11.9	18.4	15.1		
そ の 他	60	18.4	15.0	21.6	13.4			
団 地 別	団 地 居 住	1098	16.4	13.6	17.4	14.5		
	団 地 以 外	744	19.0	13.6	23.7	19.1		

(注) **赤字** は全体よりも5ポイント以上高い項目。

## (6) 安全・安心分野に対する満足度

安全・安心分野の総合評価では、満足層は 14.0% (「非常に満足」1.3% + 「やや満足」12.7%)、不満層が 20.9% (「非常に不満」2.4% + 「やや不満」18.5%) で、不満層が 6.9 ポイント上回っています。

満足層は各項目ともあまり大きな差はみられませんが、不満層は『防犯』で 32.9% と高くなっています。ついで、『交通安全』が 26.6% です。

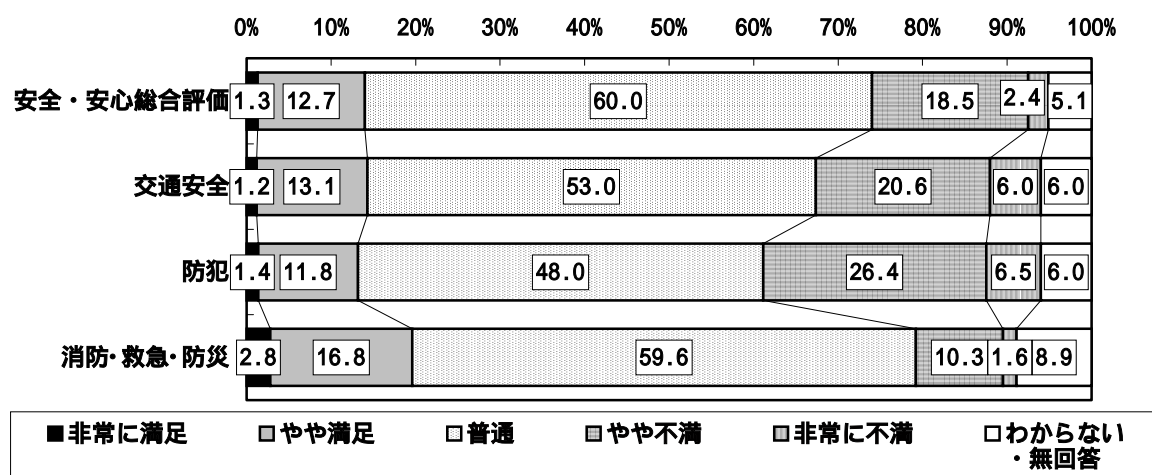
また、P24 の表は不満層の割合を示したものです。

居住地区別にみると、天野、南花台東、美加の台、南花台西では『防犯』、天見では『交通安全』の不満層の割合が高くなっています。

年齢別にみると、30 歳代、40 歳代で不満層の割合が他の年齢層に比べ高くなっています。

第 3 次総合計画策定時に行った調査 (平成 5 年 3 月) では、「安心・安全」の分野への評価は直接聞いていません。

安全・安心分野別満足度 (N=1842)



安全・安心分野別に対する不満割合 (居住地区別、属性別)

		サンプル数	交通安全	防犯	消防・救急・防災	全全以上を総合した「安心」についての不安
全 体		1842	26.6	32.9	11.9	20.9
居 住 地 区 別	長 野	239	27.2	33.1	11.3	19.7
	小 山 田	165	26.7	25.4	7.9	17.0
	天 野	76	29.0	<b>38.2</b>	11.8	23.6
	高 向	80	30.0	32.5	10.0	25.0
	三 日 市	239	25.5	33.9	10.9	21.3
	天 見	21	<b>38.1</b>	33.3	14.3	23.8
	川 上	94	18.1	26.6	10.7	14.9
	千 代 田	218	30.2	36.2	13.8	24.8
	楠	181	29.3	28.8	11.6	21.6
	加 賀 田	134	26.1	32.1	14.1	20.9
	石 仏	109	25.7	25.7	8.2	15.6
	南 花 台 東	85	30.6	<b>38.8</b>	16.4	<b>27.1</b>
	美 加 の 台	131	19.1	<b>38.9</b>	16.8	18.3
南 花 台 西	70	22.9	<b>44.3</b>	11.5	24.3	
性 別	男 性	788	27.7	32.1	12.1	21.0
	女 性	1012	25.6	33.6	12.0	21.3
年 齢 別	1 0 歳 代	83	25.3	33.7	12.0	21.7
	2 0 歳 代	161	28.6	33.5	12.4	23.6
	3 0 歳 代	98	28.6	<b>41.8</b>	<b>20.4</b>	<b>31.6</b>
	4 0 歳 代	180	<b>36.7</b>	<b>39.5</b>	15.0	23.9
	5 0 歳 代	461	29.3	<b>38.2</b>	14.1	23.7
	6 0 歳 代	475	24.5	30.9	8.6	18.5
	7 0 歳 以上	380	20.2	23.2	9.4	15.3
職 業 別	フルタイム	523	30.6	37.5	15.5	25.7
	パート・アルバイト	226	31.0	35.8	12.4	21.7
	家事専従	328	26.8	34.5	9.4	19.8
	学 生	118	22.8	28.8	12.7	19.4
	無 職	572	21.7	27.5	9.4	17.1
そ の 他	60	<b>31.7</b>	36.7	15.0	23.3	
団 地 別	団 地 居 住	1098	25.3	34.5	12.5	21.0
	団 地 以 外	744	28.5	30.6	10.9	20.7

(注) **太字** は全体よりも5ポイント以上高い項目。

## (7) 産業分野に対する満足度

産業分野の総合評価では、満足層は3.3%（「非常に満足」0.3%+「やや満足」3.0%）しかなく、不満層が39.9%（「非常に不満」7.1%+「やや不満」32.8%）で、不満層が36.6ポイント上回っており、6分野の中でも特に不満層の割合が高くなっています。

満足層は『日常的なレジャーや娯楽などの環境』（10.2%）で10%を超えましたが、他の2つは10%に達しません。

一方、不満層は、『商業地などのにぎわい』が40.1%、『身近な場での働きやすさ』が38.6%、『日常的なレジャーや娯楽などの環境』が36.3%と高くなっています。

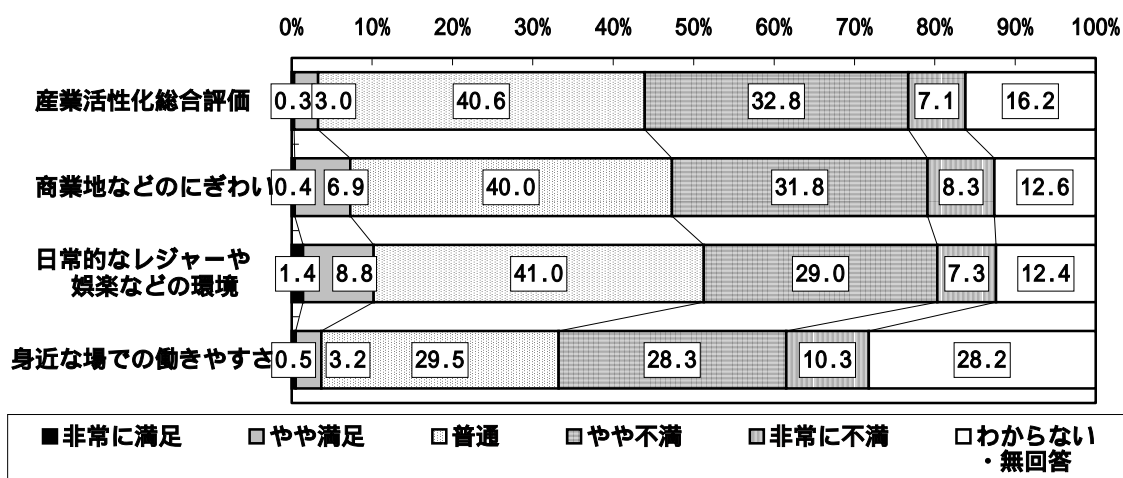
また、P26の表は不満層の割合を示したものです。

居住地区別にみると、南花台東、美加の台、川上、加賀田で不満層の割合が高くなっています。特に、美加の台では『日常的なレジャーや娯楽などの環境』を除き不満層が50%を超えています。

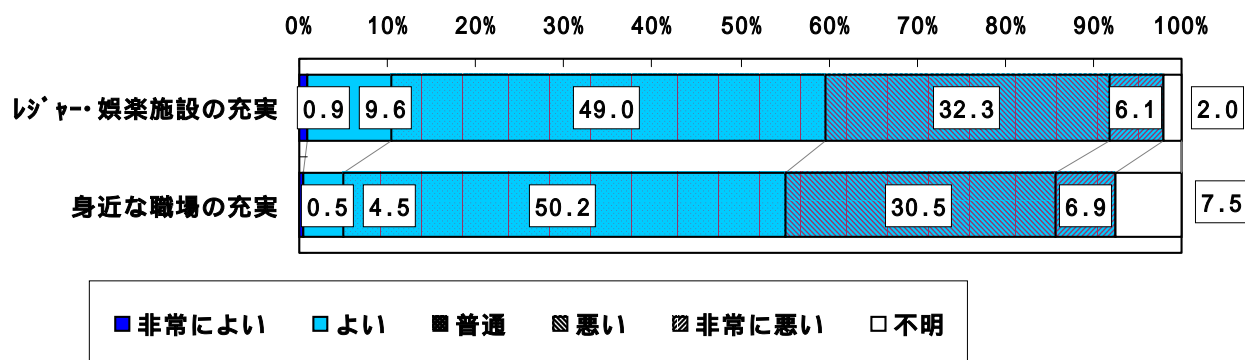
年齢別にみると、20歳代、30歳代、40歳代で不満層の割合が高くなっています。

第3次総合計画策定時に行った調査（平成5年3月）では、「レジャー・娯楽施設の充実」を「非常によい」「よい」と評価する人が合わせて10.5%、「悪い」「非常に悪い」が合わせて38.4%、「身近な職場の充実」を「非常によい」「よい」と評価する人が合わせて5.0%、「悪い」「非常に悪い」が合わせて37.4%でしたので、全体的な評価はあまり変わっていないといえます。

産業分野別満足度 (N=1842)



(参考) 第3次総合計画策定時の調査結果（平成5年3月）



産業分野別に対する不満割合 (居住地区別、属性別)

	サンプル数	い商業地などのにぎわ	娯日常的なレジャーや環境	身近な場での働きや	の全以上の総合した満足度	
全体	1842	40.1	36.3	38.6	39.9	
居住地区別	長野	239	44.8	37.7	33.4	37.6
	小山田	165	34.0	29.1	33.4	36.3
	天野	76	39.5	35.5	39.4	36.8
	高向	80	37.5	<b>42.6</b>	32.6	37.5
	三日市	239	39.7	31.8	35.6	38.9
	天見	21	28.6	<b>42.9</b>	33.3	38.1
	川上	94	<b>45.7</b>	39.3	<b>44.7</b>	42.5
	千代田	218	34.8	34.8	35.4	35.8
	楠	181	34.8	29.3	33.1	34.3
	加賀田	134	44.8	38.8	<b>51.5</b>	44.8
	石仏	109	35.8	37.6	42.2	40.4
	南花台東	85	<b>45.9</b>	<b>43.5</b>	<b>45.9</b>	<b>47.1</b>
	美加の台	131	<b>52.6</b>	<b>46.6</b>	<b>51.1</b>	<b>53.5</b>
	南花台西	70	35.7	40.0	40.0	44.3
性別	男性	788	<b>45.2</b>	40.4	39.7	44.2
	女性	1012	36.5	33.3	37.9	36.8
年齢別	10歳代	83	43.4	<b>49.4</b>	43.4	44.6
	20歳代	161	44.7	<b>50.3</b>	<b>50.9</b>	<b>50.3</b>
	30歳代	98	<b>55.1</b>	<b>42.9</b>	<b>55.1</b>	<b>49.0</b>
	40歳代	180	<b>47.2</b>	<b>42.8</b>	<b>46.1</b>	<b>45.5</b>
	50歳代	461	42.7	35.8	<b>44.3</b>	43.6
	60歳代	475	39.8	33.3	36.2	39.2
	70歳以上	380	27.6	27.4	20.5	26.1
職業別	フルタイム	523	<b>50.8</b>	<b>42.5</b>	<b>45.7</b>	<b>49.0</b>
	パート・アルバイト	226	38.9	41.2	<b>49.6</b>	<b>45.5</b>
	家事専従	328	33.8	27.5	34.4	31.4
	学生	118	42.4	<b>51.7</b>	<b>44.1</b>	<b>45.0</b>
	無職	572	34.4	31.1	30.1	33.9
その他	60	41.7	38.3	33.3	40.0	
団地別	団地居住	1098	40.6	36.7	41.7	42.0
	団地以外	744	39.2	35.8	34.0	36.7

(注) **太字** は全体よりも5ポイント以上高い項目。

## (8) 都市基盤分野に対する満足度

都市基盤分野の総合評価では、満足層は 13.5%（「非常に満足」1.1% + 「やや満足」12.4%）、不満層が 30.4%（「非常に不満」4.9% + 「やや不満」25.5%）で、不満層が 16.9 ポイント上回っています。

項目別にみると、『公園や緑地などの環境』（満足層 30.0% - 不満層 21.5%）では満足層が不満層を上回っていますが、『バスなどの公共交通サービス』（満足層 15.1% - 不満層 37.0%）『道路や橋などの交通網』（満足層 12.9% - 不満層 35.9%）では不満層が満足層を上回っています。

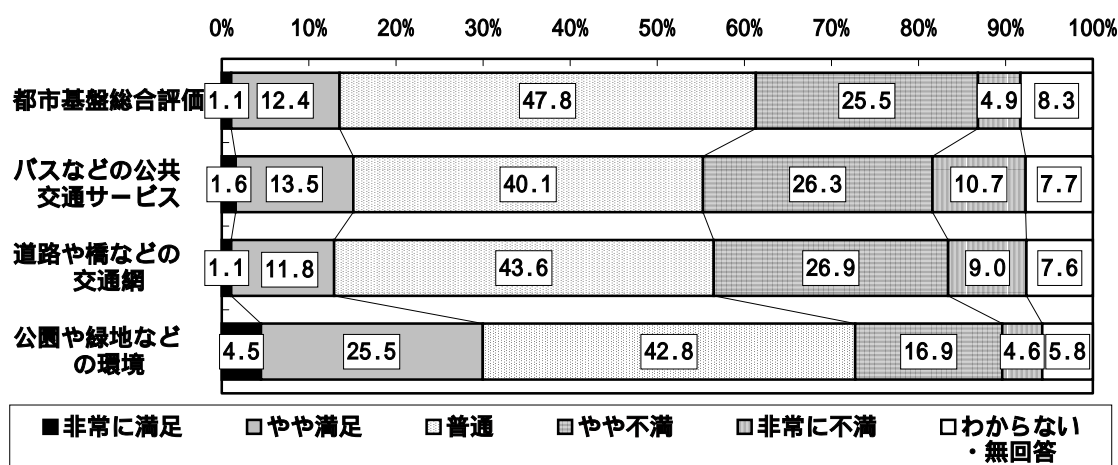
また、P28 の表は不満層の割合を示したものです。

居住地区別にみると、天野、天見、石仏、南花台東で不満層の割合が高くなっています。

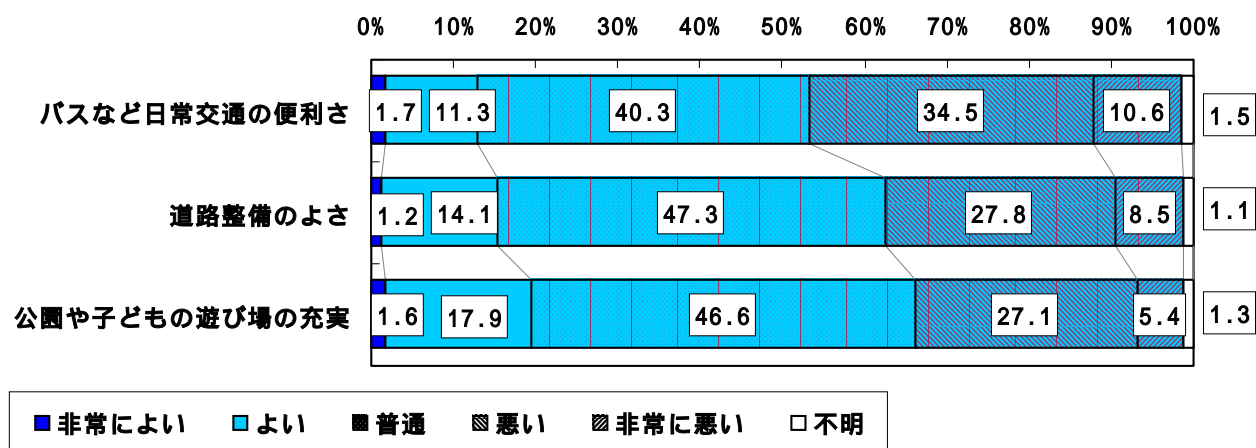
年齢別にみると、30 歳代、40 歳代で不満層の割合が高くなっています。

第 3 次総合計画策定時に行った調査（平成 5 年 3 月）では、「バスなどの日常交通の便利さ」を「非常によい」「よい」と評価する人が合わせて 13.0%、「悪い」「非常に悪い」が合わせて 45.1%、「道路整備のよさ」を「非常によい」「よい」と評価する人が合わせて 15.3%、「悪い」「非常に悪い」が合わせて 36.3%、「公園や子供の遊び場の充実」を「非常によい」「よい」と評価する人が合わせて 19.5%、「悪い」「非常に悪い」が合わせて 32.5%、でした。

都市基盤分野別満足度 (N=1842)



(参考) 第 3 次総合計画策定時の調査結果 (平成 5 年 3 月)



都市基盤分野別に対する不満割合 (居住地区別、属性別)

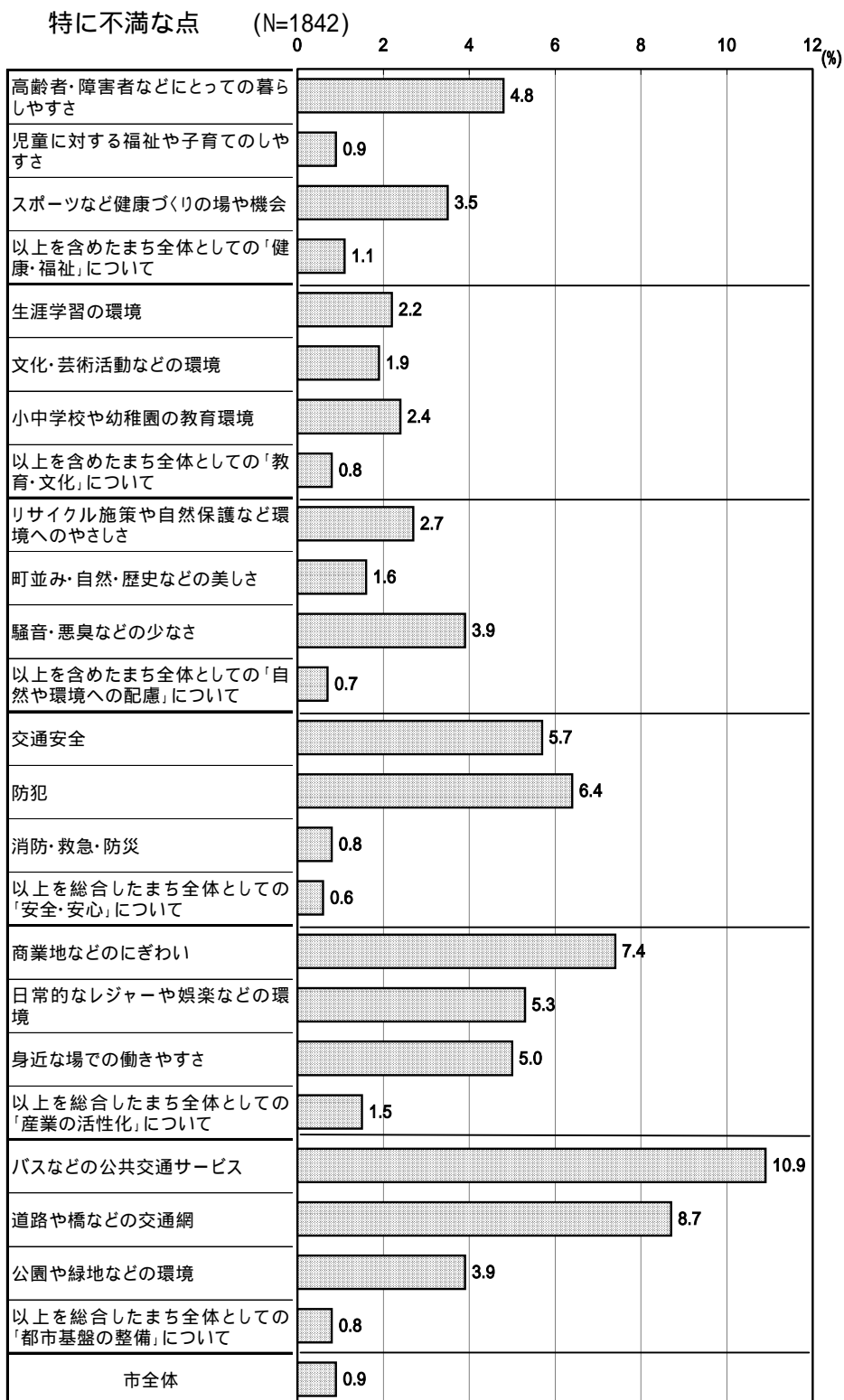
		サンプル数	バスなどの公共交通	道路や橋などの交通	公園や緑地などの環境	全体的な整備
全 体		1842	37.0	35.9	21.5	30.4
居 住 地 区 別	長 野	239	23.4	29.7	22.6	24.3
	小 山 田	165	29.7	26.7	10.9	21.8
	天 野	76	<b>54.0</b>	38.2	25.0	<b>40.8</b>
	高 向	80	<b>46.3</b>	36.3	<b>31.3</b>	32.6
	三 日 市	239	36.9	<b>45.6</b>	<b>27.6</b>	33.9
	天 見	21	38.1	38.1	19.1	<b>42.8</b>
	川 上	94	40.4	<b>47.9</b>	17.0	33.0
	千 代 田	218	31.6	27.5	20.7	29.8
	楠	181	30.4	34.3	18.3	26.0
	加 賀 田	134	<b>49.2</b>	40.3	21.6	35.1
	石 仏	109	<b>45.0</b>	37.6	22.0	<b>36.7</b>
	南 花 台 東	85	<b>47.1</b>	<b>49.4</b>	<b>27.1</b>	<b>38.8</b>
	美 加 の 台	131	<b>45.1</b>	35.1	14.5	26.0
南 花 台 西	70	40.0	31.4	<b>30.0</b>	31.4	
性 別	男 性	788	35.2	38.5	23.6	33.4
	女 性	1012	38.8	34.2	20.0	28.5
年 齢 別	1 0 歳 代	83	37.4	27.7	25.3	20.5
	2 0 歳 代	161	<b>47.8</b>	34.8	22.3	32.3
	3 0 歳 代	98	<b>49.0</b>	<b>50.0</b>	23.5	<b>36.7</b>
	4 0 歳 代	180	<b>42.2</b>	<b>50.5</b>	<b>30.0</b>	<b>40.0</b>
	5 0 歳 代	461	39.0	38.2	21.9	32.8
	6 0 歳 代	475	34.1	33.9	20.8	30.3
	7 0 歳 以上	380	28.7	27.6	16.3	23.1
職 業 別	フルタイム	523	40.3	<b>43.6</b>	24.6	<b>35.9</b>
	パート・アルバイト	226	36.7	33.6	21.7	28.8
	家事専従	328	37.2	32.7	19.8	28.4
	学 生	118	<b>48.3</b>	31.3	22.8	26.3
	無 職 そ の 他	572 60	32.8 35.0	32.9 40.0	20.1 16.7	28.5 31.7
団 地 別	団 地 居 住	1098	41.6	38.4	18.9	31.8
	団 地 以 外	744	30.4	32.4	25.4	28.2

(注) **太字** は全体よりも5ポイント以上高い項目。

## 7 特に不満な点

前述の25項目の中で特に不満を感じている項目をあげてもらったところ、「バスなどの公共交通サービス」が10.9%と最も高くなっています。ついで、「道路や橋などの交通網」(8.7%)、「商業地などのにぎわい」(7.4%)、「防犯」(6.4%)と続いています。

不満の最も高かった産業分野の項目よりも、都市基盤分野に属する項目の割合の方が高くなっているのが注目されます。





## 8 今後の居留意向

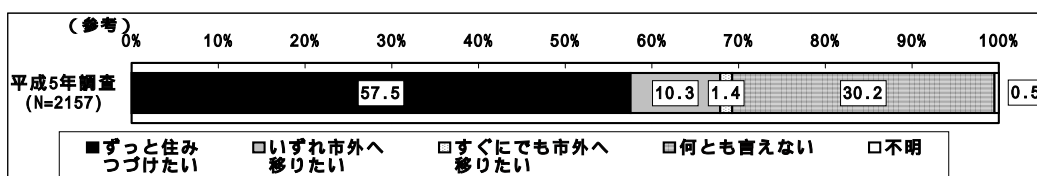
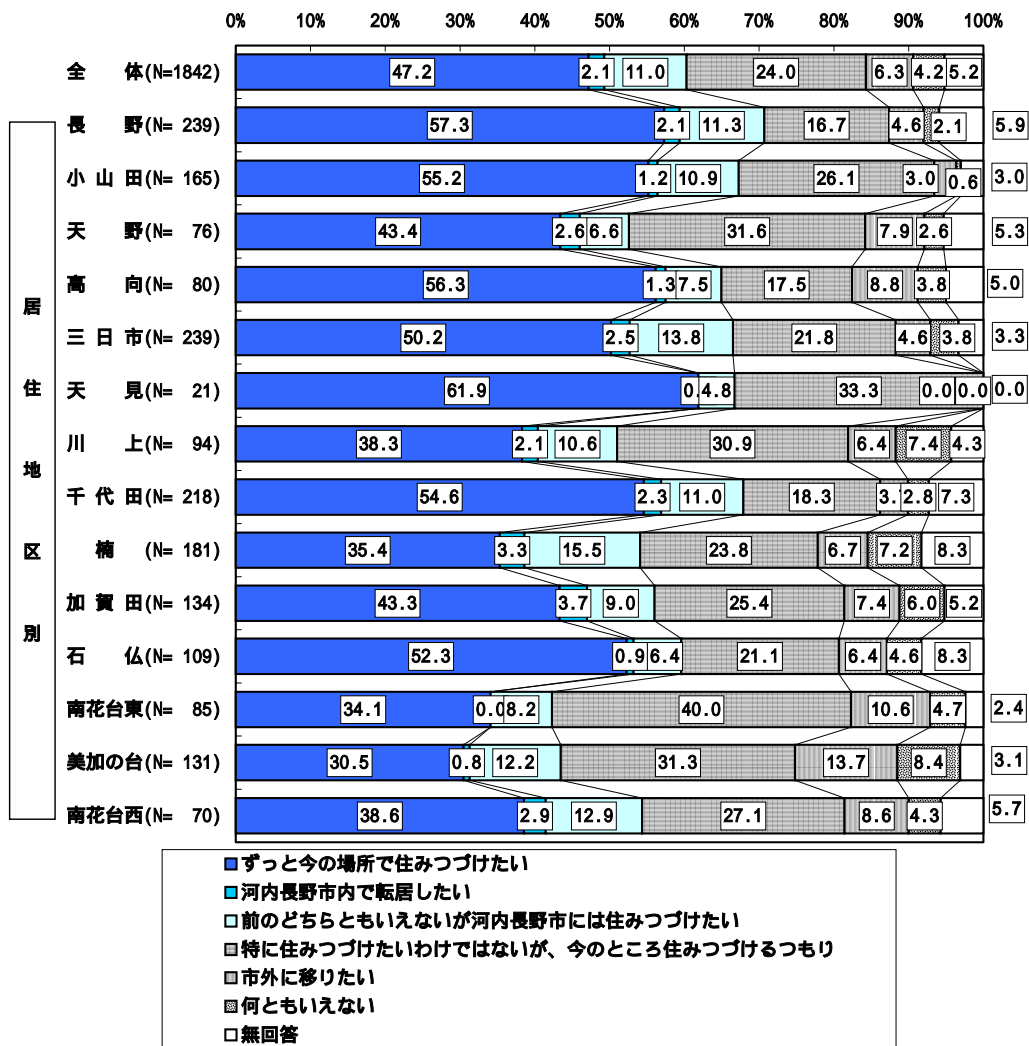
今後の居留意向としては、「ずっと今の場所で住み続けたい」が47.2%と半数近くを占めています。ついで、「特に住みつづけたいわけではないが、今のところ住みつづけるつもり」が24.0%、「前のどちらともいえないが河内長野には住みつづけたい」が11.0%、「河内長野市内で転居したい」が2.1%と、河内長野市内の居留意向は全部合わせると84.3%です。一方、「市外に移りたい」( = 「いずれ市外に移りたい」 + 「すぐに市外に移りたい」) は6.3%です。

居住地区別にみると、下図に示す通り地区ごとによりかなりの差がみられますが、河内長野市内での居留意向割合は美加の台(74.8%)、楠(78.0%)で70%台とやや低くなっていますが、その他の地区はすべて80%を超えています。

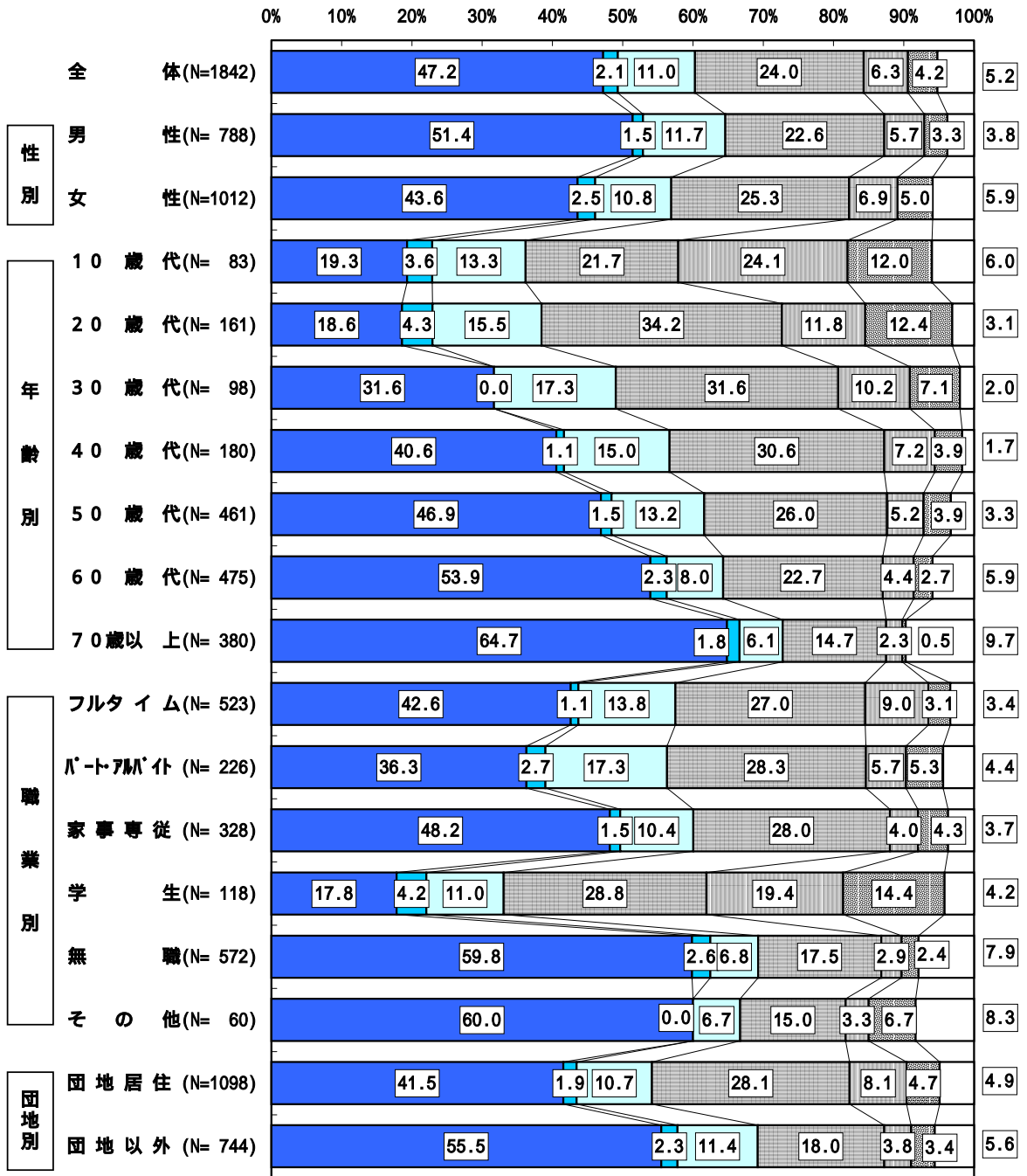
年齢別にみると、年齢の高いほど河内長野市内への居留意向が強くなっています。

第3次総合計画策定時に行った調査(平成5年3月)では、「ずっと住み続けたい」が57.5%でしたので、全体的な定住志向は強まっています。

今後の居留意向 (居住地区別)



今後の居住意向 (属性別)



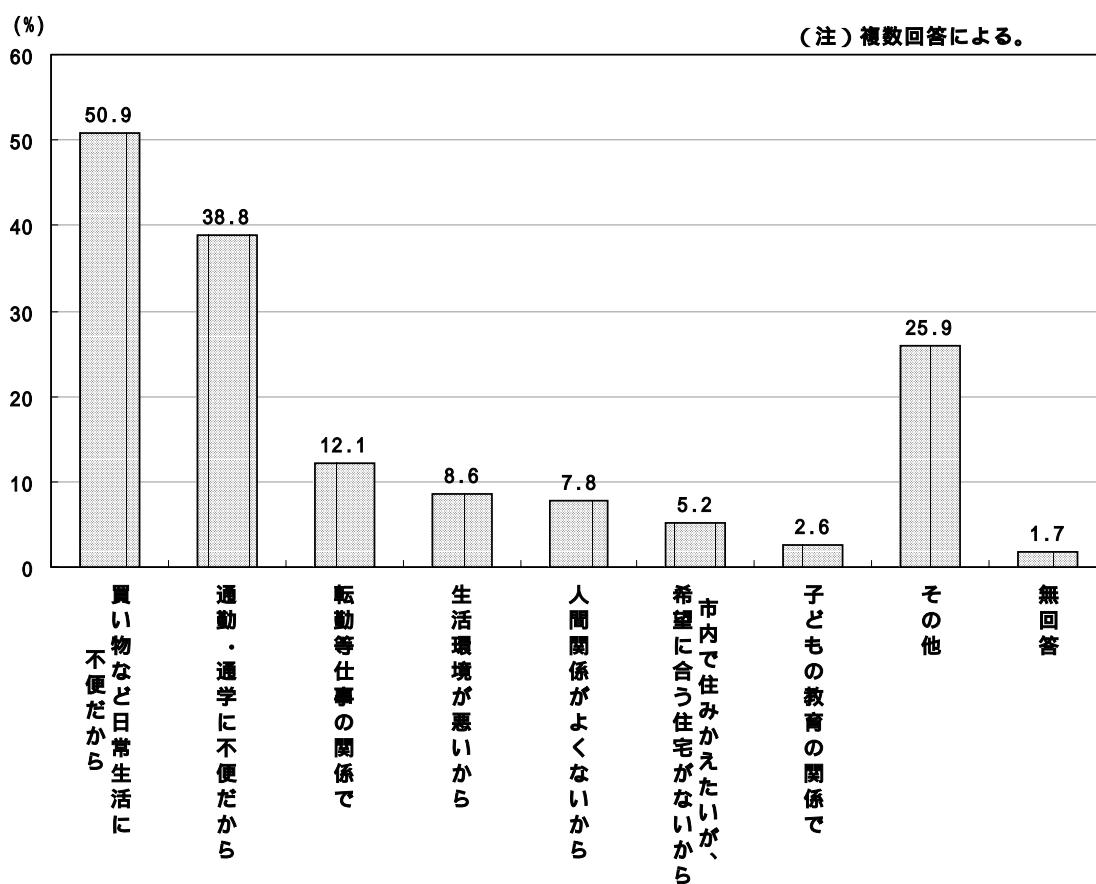
- ずっと今の場所で住みつけたい
- 河内長野市内で転居したい
- 前のどちらともいえないが河内長野市には住みつけたい
- 特に住みつけたいわけではないが、今のところ住みつけるつもり
- 市外に移りたい
- 何ともいえない
- 無回答

## 9 市外に移りたい理由

市外に移りたいと回答した 116 人にその理由を尋ねたところ、「買い物など日常生活に不便だから」が 50.9%と最も高くなっています。ついで、「通勤・通学に不便だから」(38.8%)、「転勤等仕事の関係で」(12.1%)となっています。

第 3 次総合計画策定時に行った調査(平成 5 年 3 月)では、「通勤・通学に不便だから」が 32.0%で最も多く、ついで「買い物など日常生活に不便だから」が 19.4%となっていました。

市外に転出したい理由 (N=116)



(参考) 第 3 次総合計画策定時の調査結果(平成 5 年 3 月)

(単位: %)

合計	通勤・通学に不便だから	買い物など日常生活に不便だから	転勤等仕事の関係で	市内に希望に合う住宅がないから	生活環境が悪いから	人間関係が良くないから	子どもの教育の関係から	その他	不明
100.0	32.0	19.4	13.8	5.9	5.1	4.0	2.0	16.6	1.2

(注) 単一選択回答による。

## 10 政策重視度順位

河内長野市をより良いまちにするための政策に対する市民の重視順位を把握するために2つの政策を比べてどちらを重視するかという質問を行いました。

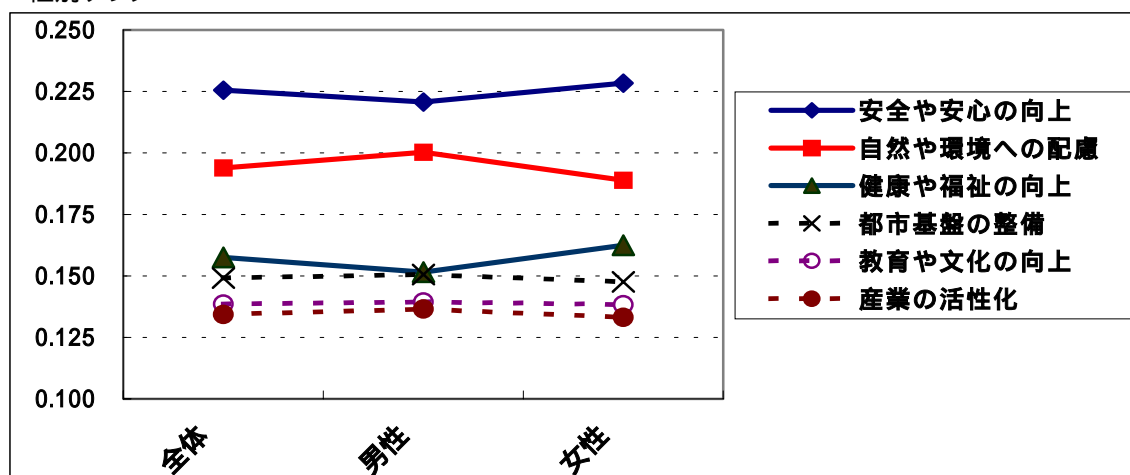
その結果、『安全や安心の向上』、『自然や環境への配慮』、『健康や福祉の向上』などがより重視されていることが分かりました。(ここでは、AHP (Analytic Hierarchy Process): 階層化意思決定分析法) という手法を使って分析をしています。)

重視すべき政策 (N=1842)

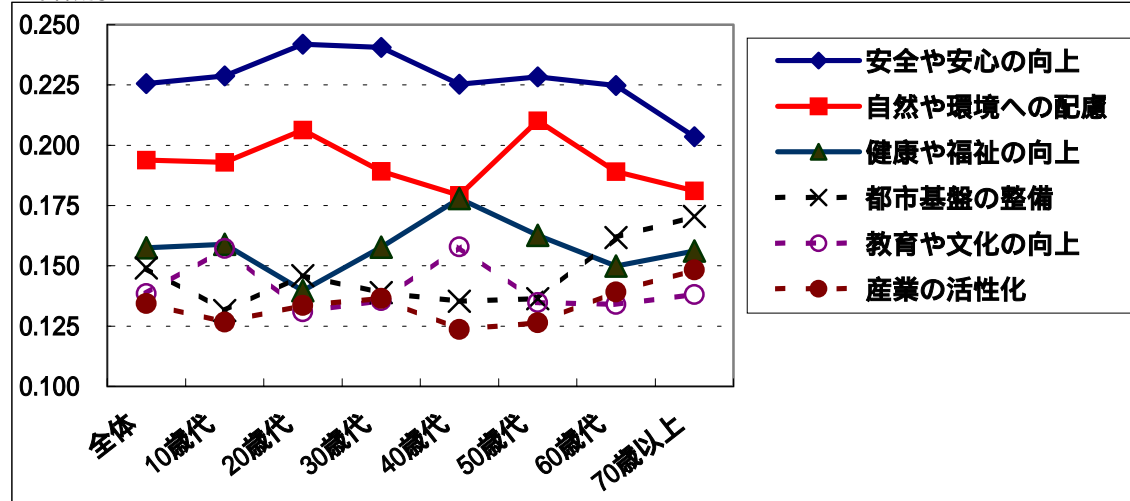
(順位)

	全体	男性	女性	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
健康や福祉の向上	3	3	3	3	4	3	3	3	4	4
教育や文化の向上	5	5	5	4	6	6	4	5	6	6
自然や環境への配慮	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
安全や安心の向上	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
産業の活性化	6	6	6	6	5	5	6	6	5	5
都市基盤の整備	4	4	4	5	3	4	5	4	3	3

性別グラフ



年齢別グラフ



すべての項目の重視度合いが均等である場合は、重視度は0.167 (1 ÷ 6分野) になる。

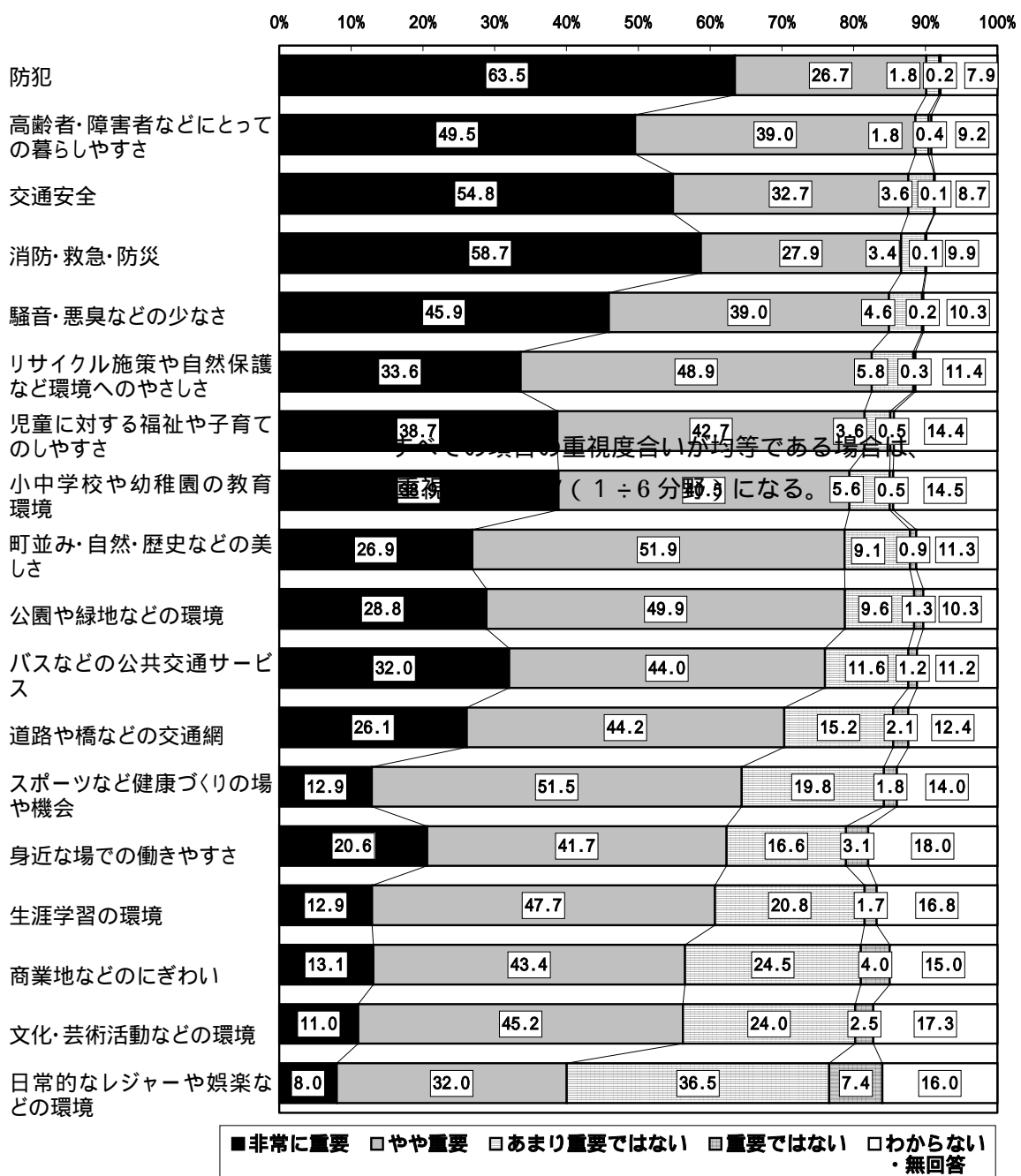
## 1.1 今後重視すべき施策

今後の施策としての重要度（「非常に重要」＋「やや重要」）をみると、「防犯」（90.2％）をトップに、「高齢者・障害者などにとっての暮らしやすさ」（88.5％）、「交通安全」（87.5％）、「消防・救急・防災」（86.6％）、「騒音・悪臭などの少なさ」（84.9％）、「リサイクル施設や自然保護など環境へのやさしさ」（82.5％）、「児童に対する福祉や子育てのしやすさ」（81.4％）となっています。

安全や自然環境、福祉に関する項目が上位にあげられています。

属性別にみると、P36～37に示すように細かい点では差がみられますが、安全や自然環境、福祉に関する施策をより重視する傾向に大きな差はみられません。

重視すべき施策 (N=1842)



各施策の重要と思う割合 (居住地区別)

	サンプル数	子どもや高齢者・障害者などに対する暮らしやすさ	子育てに対する福祉サービス	子どもに対する福祉サービス	子育てに対する福祉サービス	子育てに対する福祉サービス	子育てに対する福祉サービス	子育てに対する福祉サービス	子育てに対する福祉サービス	子育てに対する福祉サービス	子育てに対する福祉サービス
全体	1842	88.5	81.4	64.4	60.6	56.2	79.4	82.5	78.8	84.9	
居住地区別	長野	239	84.6	73.7	61.5	54.0	54.4	70.7	78.7	81.6	
	小山田	165	87.9	83.6	65.4	63.6	58.2	80.6	85.4	89.1	
	天野	76	86.8	82.9	61.8	56.6	60.5	80.3	82.9	80.3	
	高向	80	<b>97.5</b>	85.0	<b>71.3</b>	<b>67.6</b>	51.3	<b>88.8</b>	<b>88.8</b>	80.0	<b>95.0</b>
	三日市	239	89.5	80.3	69.1	63.6	56.1	81.2	83.2	82.8	85.7
	天見	21	<b>95.3</b>	66.6	66.6	<b>66.7</b>	<b>71.4</b>	81.0	76.2	76.2	<b>90.4</b>
	川上	94	91.5	81.9	60.7	55.4	53.2	82.0	84.1	<b>84.0</b>	83.0
	千代田	218	90.8	82.5	62.4	61.0	54.6	81.6	79.8	73.8	82.6
	楠	181	84.5	77.9	54.7	54.2	46.4	77.3	79.0	73.5	80.7
	加賀田	134	86.6	78.4	63.4	57.5	59.7	79.1	85.8	80.6	82.1
	石仏	109	91.7	<b>88.1</b>	<b>69.7</b>	<b>66.1</b>	56.9	74.3	85.3	79.8	86.3
	南花台東	85	87.0	<b>88.2</b>	<b>76.4</b>	<b>72.9</b>	<b>69.4</b>	82.4	84.7	82.3	<b>91.7</b>
	美加の台	131	87.8	86.2	61.1	60.3	59.5	82.4	82.4	81.6	85.5
南花台西	70	90.0	<b>87.1</b>	<b>71.4</b>	<b>67.2</b>	60.0	81.4	82.8	<b>87.1</b>	88.6	

	交通安全	防犯	消防・救急・防災	商業地などのにぎわい	日常的なレジャー環境	身近な場での働きやすさ	通バスなどの公共交通	道路や橋などの交通	公園や緑地などの環境	
全体	87.5	90.2	86.6	56.5	40.0	62.3	76.0	70.3	78.7	
居住地区別	長野	82.4	83.7	82.0	60.3	42.2	63.6	66.1	63.6	72.0
	小山田	<b>94.6</b>	92.7	<b>92.7</b>	58.8	35.2	59.4	<b>81.2</b>	70.9	83.0
	天野	81.6	89.5	84.2	57.9	42.1	60.5	78.9	69.8	81.5
	高向	<b>95.1</b>	95.1	87.5	60.0	<b>51.3</b>	62.6	<b>86.3</b>	<b>76.3</b>	78.8
	三日市	90.4	92.0	89.5	59.5	40.2	65.7	80.3	<b>79.1</b>	81.2
	天見	76.2	85.7	85.7	52.4	<b>47.6</b>	61.9	71.4	66.6	81.0
	川上	87.2	90.4	85.2	51.1	35.1	66.0	75.5	70.2	77.7
	千代田	87.6	90.8	85.3	53.7	39.5	60.1	69.2	66.5	77.0
	楠	83.9	87.9	84.0	51.9	40.9	58.0	62.9	66.3	76.2
	加賀田	82.8	88.8	87.3	54.5	34.4	59.7	<b>82.1</b>	<b>75.3</b>	77.6
	石仏	89.0	91.7	88.1	58.7	42.2	58.7	80.7	69.7	82.5
	南花台東	90.6	92.9	89.4	55.3	40.0	<b>68.2</b>	<b>84.7</b>	<b>78.8</b>	<b>89.4</b>
	美加の台	88.6	93.2	87.1	56.5	35.9	66.5	80.1	65.7	79.4
南花台西	90.0	91.4	84.3	55.8	<b>45.8</b>	62.9	<b>85.7</b>	67.2	75.7	

(注) **太字** は全体よりも5ポイント以上高い項目。

各施策の重要と思う割合 (属性別)

	サンプル数	高齢者・障害者などに対する暮らしやすさ	子育てのしやすさ	児童に対する福祉	子育ての場や健康づくりの機会	生涯学習の環境	文化・芸術活動などの環境	小中学校や幼稚園の教育環境	自然保護など環境へのやさしさ	リサイクル施策や自然の美しさ	町並み・自然・歴史などの美しさ	騒音・悪臭などの少なさ
全体	1842	88.5	81.4	64.4	60.6	56.2	79.4	82.5	78.8	84.9		
性別												
男性	788	89.2	82.5	66.8	61.5	53.8	80.5	84.1	80.1	86.4		
女性	1012	88.1	80.9	63.3	60.7	58.9	78.9	82.2	78.6	84.0		
年齢別												
10歳代	83	79.5	81.9	65.1	59.0	55.5	80.7	83.2	74.7	83.2		
20歳代	161	83.8	85.1	64.6	60.2	51.5	77.7	82.0	81.3	83.9		
30歳代	98	89.8	83.7	<b>70.4</b>	<b>69.4</b>	<b>63.2</b>	83.6	<b>87.8</b>	<b>86.7</b>	<b>92.8</b>		
40歳代	180	92.8	<b>88.3</b>	58.9	60.5	56.6	83.9	<b>89.5</b>	83.3	<b>90.0</b>		
50歳代	461	90.0	85.5	62.9	62.0	55.6	83.1	<b>88.5</b>	81.4	89.2		
60歳代	475	92.9	83.2	<b>69.5</b>	<b>65.7</b>	60.2	82.3	83.8	81.2	86.1		
70歳以上	380	83.1	69.2	61.0	51.6	52.9	68.6	69.4	68.1	74.5		
職業別												
フルタイム	523	90.6	84.7	64.6	63.5	55.5	80.7	87.3	83.5	89.7		
パート・アルバイト	226	90.7	86.3	66.4	65.5	59.7	<b>87.7</b>	<b>89.9</b>	<b>85.0</b>	<b>91.2</b>		
家事専従	328	91.2	82.9	66.2	60.1	59.2	80.7	83.2	81.1	85.4		
学生	118	81.4	85.6	67.8	61.9	57.6	79.7	83.9	78.8	83.1		
無職	572	86.6	76.8	62.8	57.3	54.2	75.2	76.7	71.9	78.9		
その他	60	85.0	68.3	56.7	55.0	56.7	71.7	68.3	71.6	78.3		
団地別												
団地居住	1098	89.4	84.3	68.5	65.3	<b>61.6</b>	81.5	85.4	82.9	87.0		
団地以外	744	87.3	77.0	58.3	53.7	48.4	76.3	78.3	72.7	81.7		

	交通安全	防犯	消防・救急・防災	商業地などのにぎわい	日常的なレジャーや娯楽などの環境	身近な場での働きやすさ	通バスなどの公共交通	道路や橋などの交通網	公園や緑地などの環境
全体	87.5	90.2	86.6	56.5	40.0	62.3	76.0	70.3	78.7
性別									
男性	87.6	90.8	87.8	56.6	39.3	59.9	72.7	69.9	79.3
女性	87.8	89.9	85.8	57.2	40.6	64.4	78.5	70.8	78.6
年齢別									
10歳代	79.5	84.3	81.9	<b>61.5</b>	<b>50.6</b>	<b>73.5</b>	73.4	65.0	74.7
20歳代	83.8	85.7	82.0	58.4	<b>50.9</b>	62.8	73.3	63.9	78.3
30歳代	90.8	91.8	<b>92.9</b>	<b>69.4</b>	<b>56.1</b>	66.3	77.6	<b>76.5</b>	82.7
40歳代	92.3	<b>95.5</b>	<b>91.7</b>	<b>61.7</b>	41.6	<b>69.5</b>	75.5	73.9	82.8
50歳代	90.8	93.7	89.8	56.4	35.6	66.6	76.4	71.4	81.4
60歳代	91.4	93.6	88.0	56.0	38.5	60.6	78.5	72.9	81.9
70歳以上	79.2	81.8	80.0	50.2	35.3	52.1	73.9	66.6	70.0
職業別									
フルタイム	90.2	93.0	90.6	60.5	43.0	61.7	73.2	71.1	80.3
パート・アルバイト	<b>93.4</b>	95.1	89.8	<b>62.8</b>	44.7	<b>73.8</b>	77.5	71.2	81.0
家事専従	90.3	92.0	87.8	56.7	35.7	63.4	80.2	73.8	81.4
学生	83.0	84.8	81.4	61.0	<b>47.5</b>	<b>71.1</b>	74.5	67.0	81.4
無職	84.0	86.2	82.7	50.4	35.7	56.6	76.6	68.7	75.2
その他	76.7	90.0	81.7	53.3	43.3	53.4	71.7	65.0	75.0
団地別									
団地居住	89.6	92.6	88.4	57.4	39.2	61.6	79.4	71.6	82.2
団地以外	84.4	86.7	84.0	55.4	41.0	63.2	70.8	68.3	73.8

(注1) **太字** は全体よりも5ポイント以上高い項目。

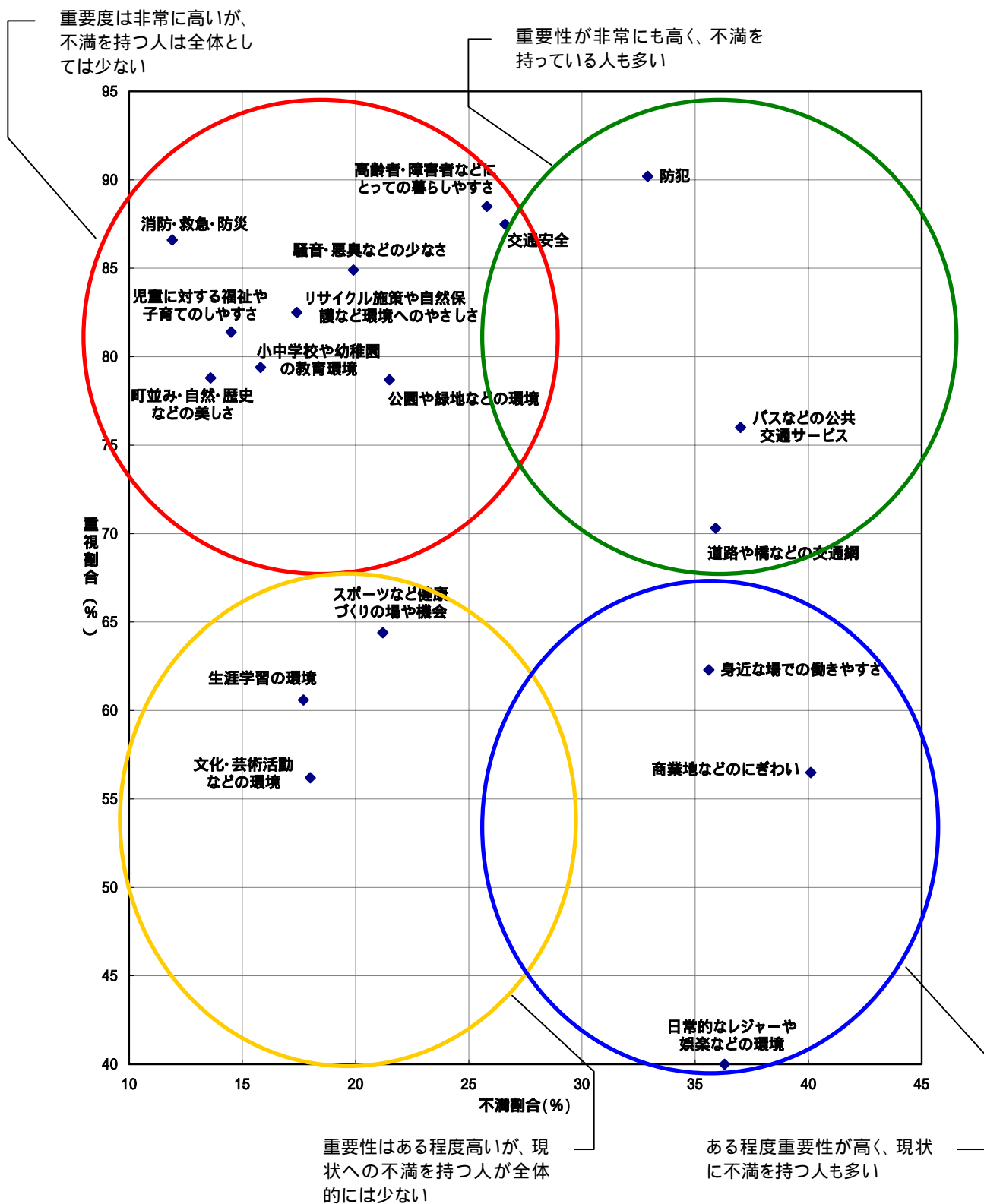
(注2) 「非常に重要」と「やや重要」の合計パーセント。

下図は、前述の満足度における不満割合と重視割合の関係を示したものです。

不満割合としては、産業分野や都市基盤分野に対する高さが目立ちますが、重視割合としては、『安全・安心』、『自然・環境』、『健康・福祉』をより重視する傾向が顕著にみられます。

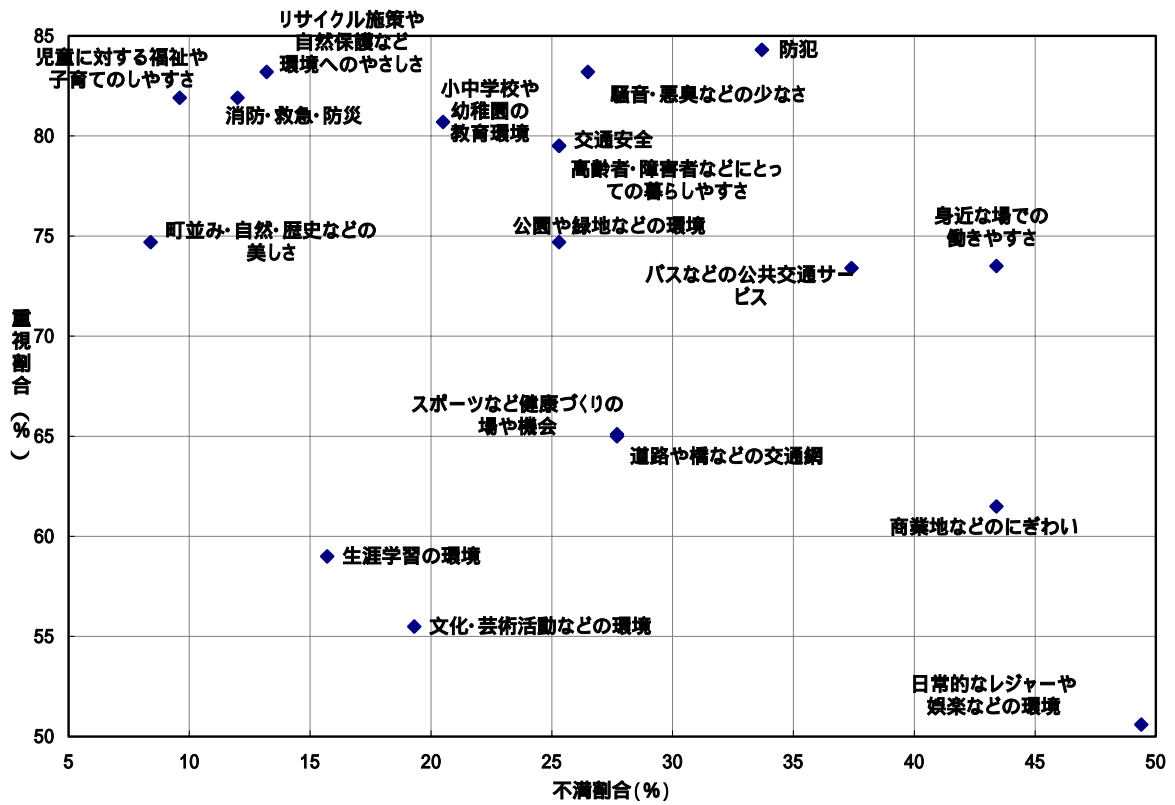
### 現状の不満割合と重要割合の比較

<全体>

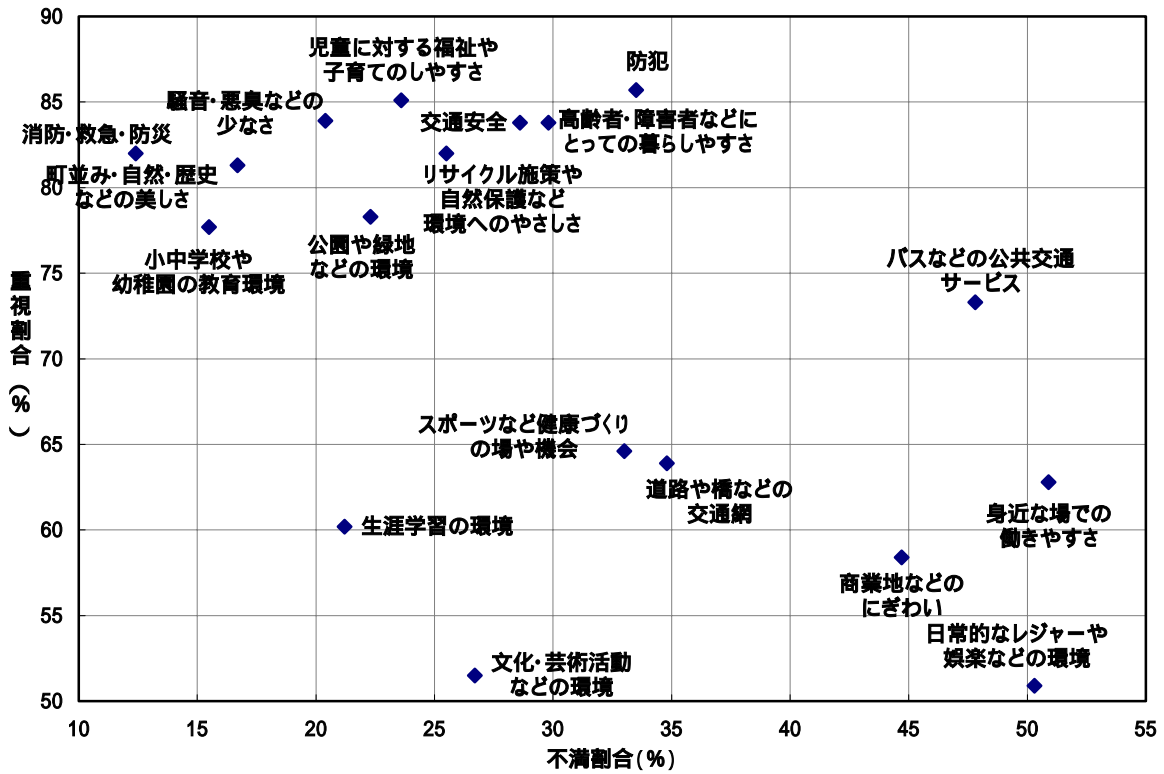




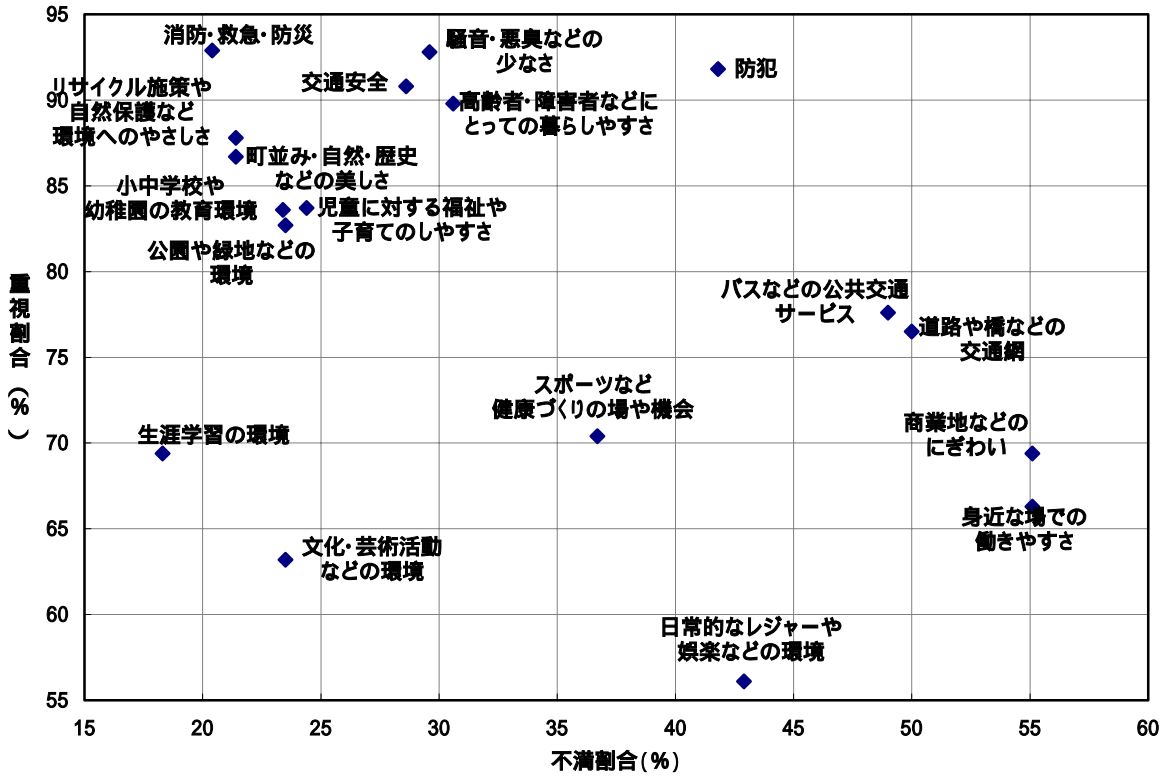
< 10歳代 >



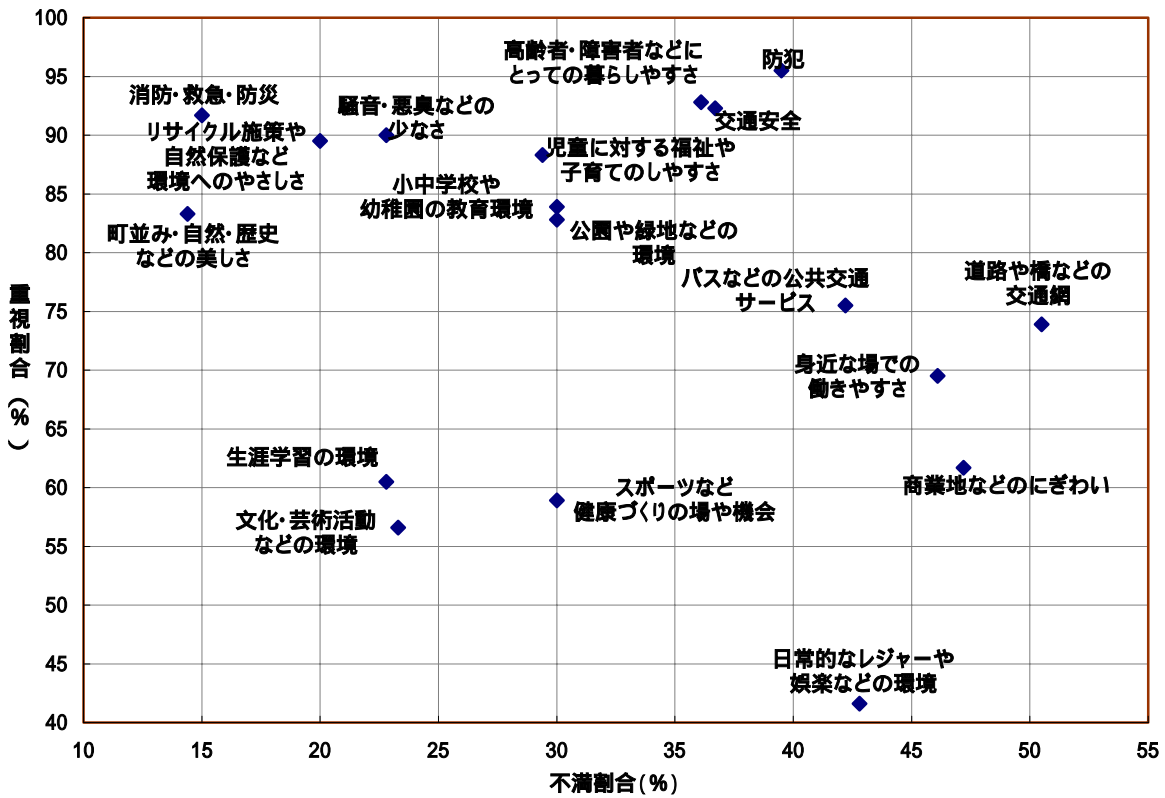
< 20歳代 >



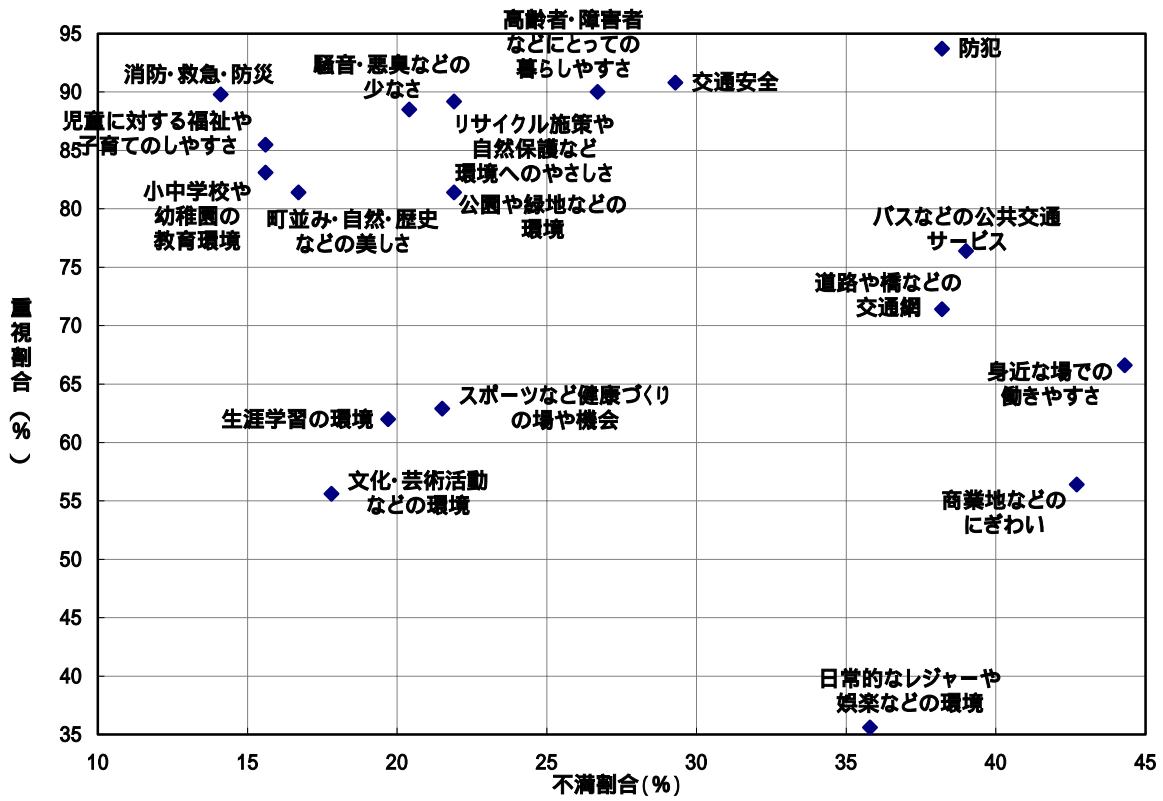
< 30歳代 >



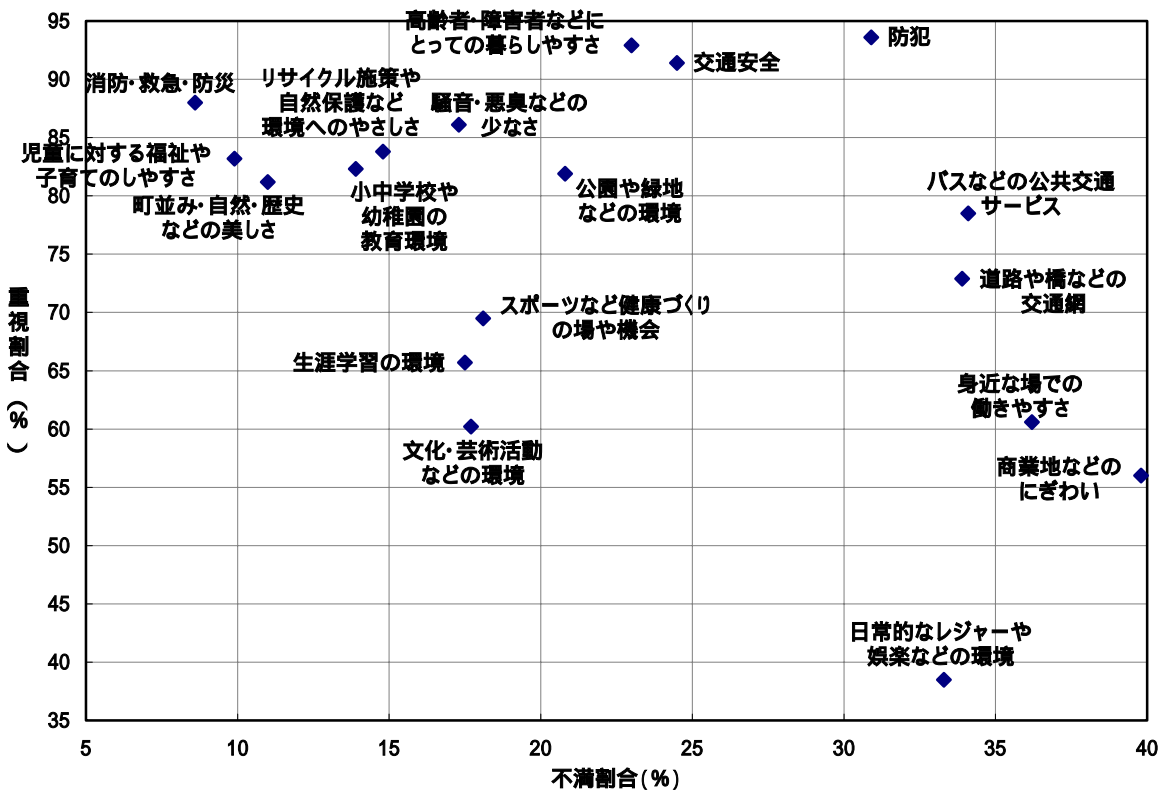
< 40歳代 >



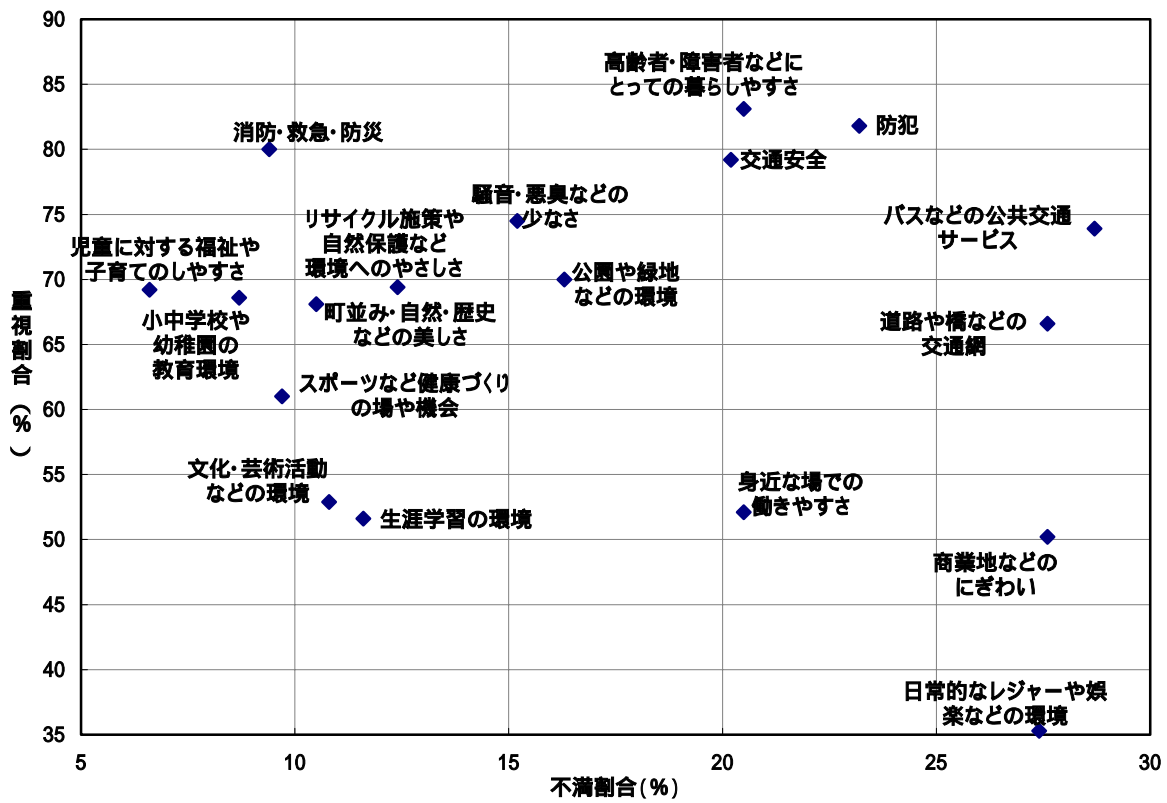
< 50歳代 >



< 60歳代 >



< 70歳以上 >

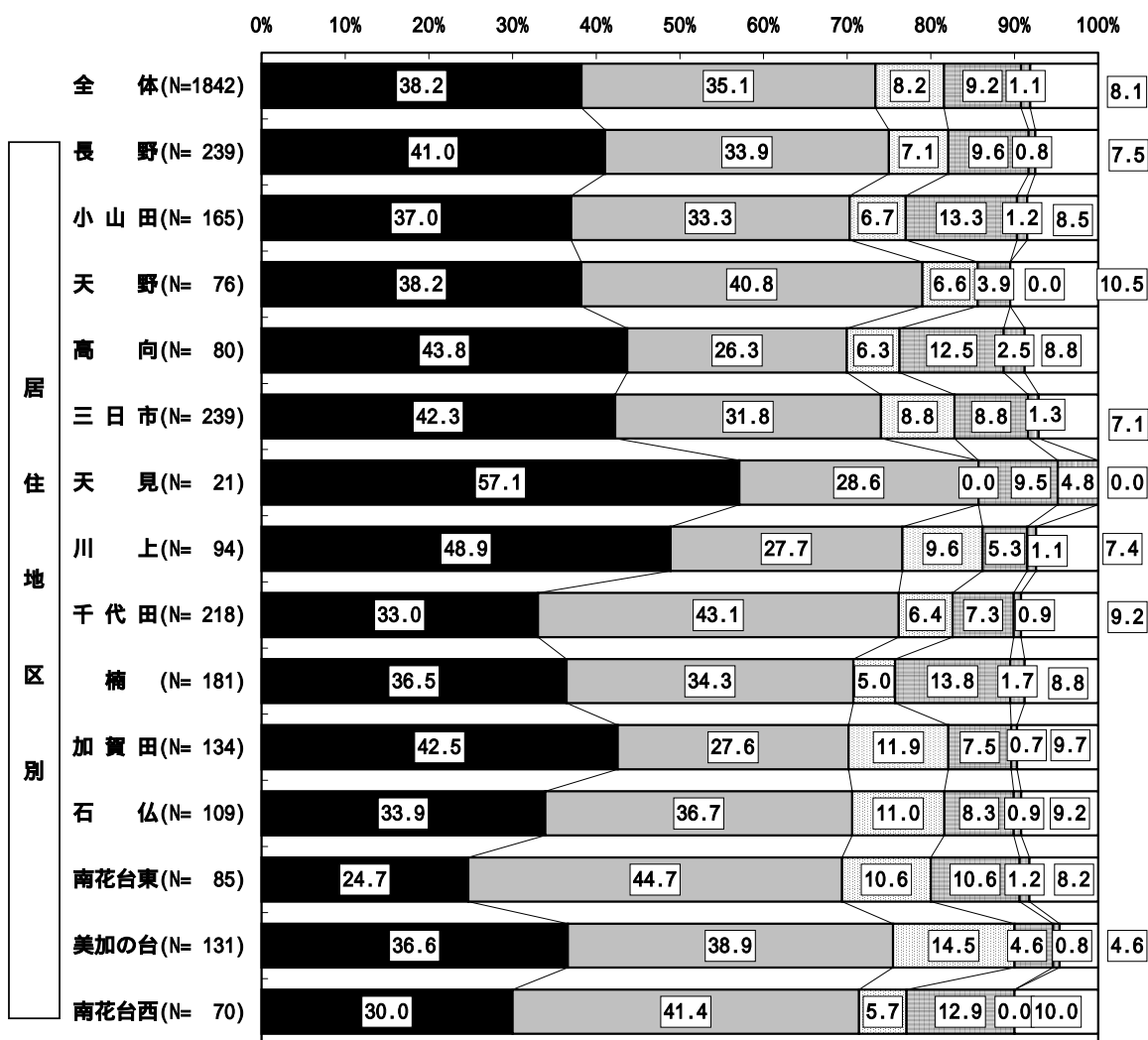


## 1 2 今後めざすべき都市像

将来（おおむね 10 年後）の河内長野市が目指すべき将来像としては、「現在の市域のまま、本市の特性・特徴を活かした自立した都市をめざすべきだ」（38.2%）と「現在の市域のまま、近隣の市町村との連携・協力をより強めた都市をめざすべきだ」（35.1%）の 2 つがほぼ拮抗しています。「近隣の市町村と合併し、政令指定都市や中核市など、市域・人口・権限などを拡大した大都市をめざすべきだ」は 8.2%と低くなっています。

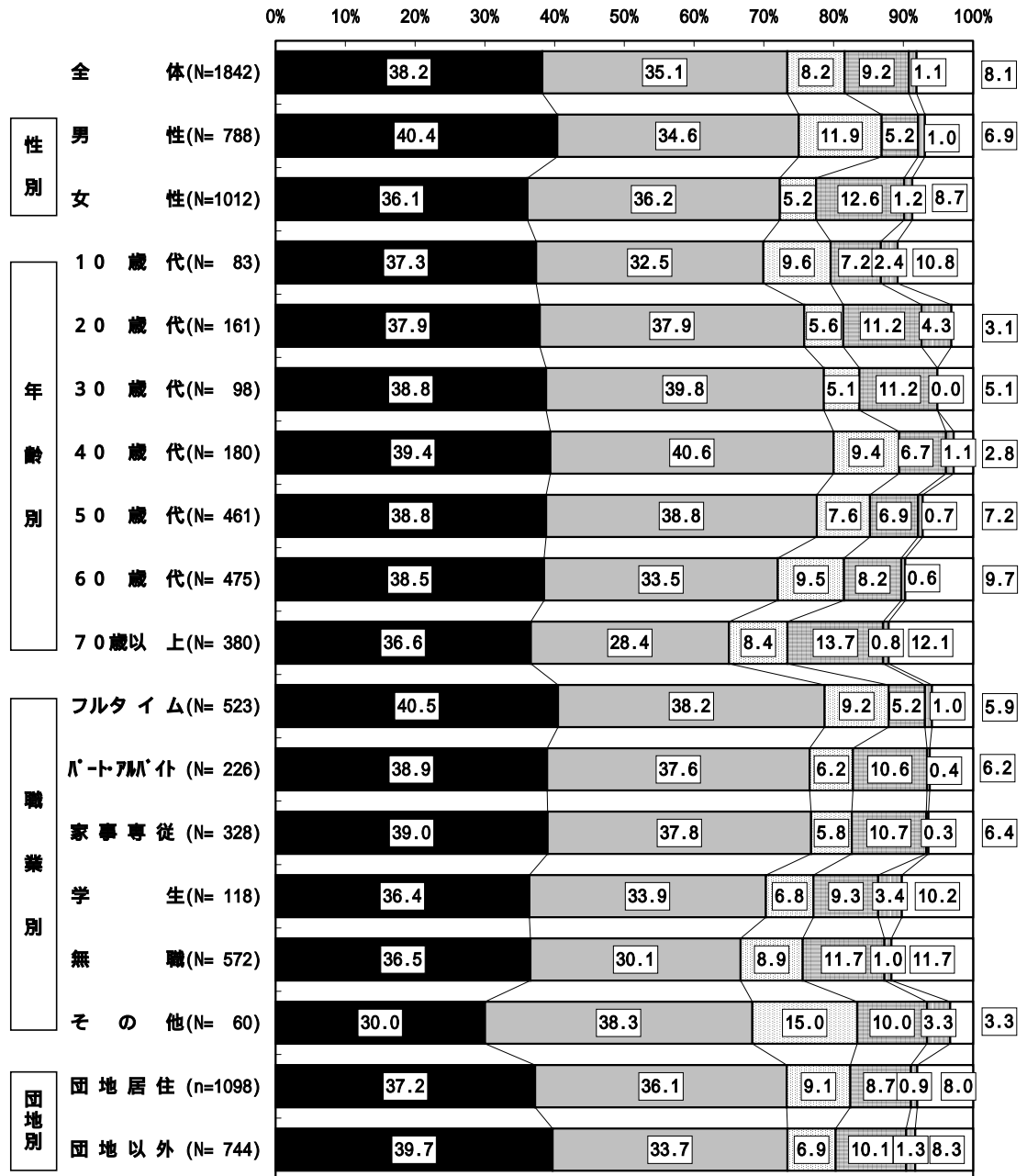
属性別にみても、「現在の市域のまま、本市の特性・特徴を活かした自立した都市をめざすべきだ」と「現在の市域のまま、近隣の市町村との連携・協力をより強めた都市をめざすべきだ」の 2 つが主流となっています。

今後めざすべき都市像 （居住地区別）



- 現在の市域のまま、本市の特性・特徴を活かした自立した都市をめざすべきだ
- 現在の市域のまま、近隣の市町村との連携・協力をより強めた都市をめざすべきだ
- 近隣の市町村と合併し、政令指定都市や中核市など、市域・人口・権限などを拡大した大都市をめざすべきだ
- わからない
- その他
- 無回答

今後めざすべき都市像 (属性別)



- 現在の市域のまま、本市の特性・特徴を活かした自立した都市をめざすべきだ
- 現在の市域のまま、近隣の市町村との連携・協力をより強めた都市をめざすべきだ
- 近隣の市町村と合併し、政令指定都市や中核市など、市域・人口・権限などを拡大した大都市をめざすべきだ
- わからない
- その他
- 無回答